大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　五月二十七日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三〇五 營業局專用(3)三三〇五
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

戰時體制下の革新政策を斷行

近衛强力內閣頗る期待さる

【東京國通】內閣改造に成功した近衛內閣は玆に名實ともに戰時强力內閣としての內容を整備し實質には第二次近衛內閣とも云ふべき更生の姿を以て力强く立ち上るに至つたが、更生近衛內閣の今後の施政の大方針については廿七日の定例閣議を初閣議として着々協議を進め、改造前より懸案となつてゐる對支中央機關問題の解決を第一着手として戰時財政經濟の强化、國民總動員計畫の再組織、文教刷新、戰時行政機構の改革等あらゆる部門に亙つて現下戰時體制下のわが國に緊急なる諸政策の遂行に邁進することゝなるべく、近衛首相の抱懷する革新政策の斷行もこれを以て軌道に乘つたものと見られ、更生近衛內閣の時局打開策は頗る期待される

池田新藏相記者團と一問一答

【東京國通】池田新任藏相は廿七日官邸において記者團との會見において左の一問一答をなした

問 賀屋財政の基調を修正するか

答 賀屋財政の基調は變へない、財界に急激な變化を與へるのはよくない

問 一志二片の爲替水準を堅持するか

答 對英一志二片の水準は動かさない信念である、これを維持するためには相當な犠牲をも辭せない、一志二片を維持しつゝ戰爭を遂行するやうにするのが大藏省の任務であると思ふ

問 輸入制限の緩和を圖る意思はないか

答 輸入制限の緩和には輸出增進が早道である、輸出が增進すれば輸入制限を緩和していゝ輸出增進には極力努力する

問 公債政策、貯蓄獎勵については如何、公債强制保有の意思ありや

答 公債消化には現在充分手を盡してゐる、新しいことも考へてゐるが、現在の所强制保有などやらずにやつて行けると思ふ

問 特銀、大藏、商工兩省の人事異動を行ふか

答 特銀の人事異動は考へてない、日銀總裁は勿論そのまゝやつて貰ふ、大藏、商工兩省の人事異動も考へてゐない、私は事務官は各省に留つて長く仕事をするのが本當で、大臣が代るからといつて事務官が變るのはよくないと思つてゐる

問 戰時下の經濟統制の强化についての考へ如何

答 戰爭のために必要とあれば經濟統制の强化は當然である、然し統制强化の結果が國民生活に脅威を與へることは極力避けることを原則としなければならない

問 藏相、商相を兼任、更に兩省の機能の一元化を圖ると聲明してゐるのは大藏、商工兩省の機構の一部を改革し經濟省の樣なものにする意向か、爲替局と臨時物資調整局とを統合するか

答 戰時下の經濟を圓滑に遂行するに大藏、商工の事務を一元的に考へる必要がある、その方向に進みたいと思ふのである、然し大藏、商工兩省の機構改革は目下考へてゐない

財經行政の有機的統合

池田氏の出馬で愈よ實現

【東京國通】現在の大藏、商工兩省の行政機構は自由主義經濟時代に樹立されその後時勢の推移に應じてその都度必要な局課の新設併合等を行つて來たが、戰時下の統制經濟時代に於ては兎角つぎはぎの感を免れず反弊を打破して兩省の有機的連絡を計るため所謂賀屋、吉野コンビによる計畫經濟の提唱となつたものであるが、兩省の行政機構としては尚現狀に副はない點多く今回池田氏の大藏、商工兩相兼攝はこの點において相當重要なる意味を持つものと見られる、即ち池田氏は大藏、商工兩省の行政を汎く物資及び資金の調整を計る見地よりながめ從來の機構に拘束さるゝことなく兩省を綜合一體として統括せんとする意圖を有するものであつて、さしあたりは臨時物資調整局と爲替局との併合による一大物資調整局の新設の如きものより着手將來は兩省を併合して經濟省或は軍需省の如き組織に發展せしむべき素地を作らんとする希望を有するものゝ如く、この點については改造前賀屋、吉野兩相との充分なる諒解が成立してゐるものと見られてゐる

藏相の商相兼任

五ケ年計畫遂行上大歡迎

改造內閣に滿洲國の期待甚大

近衛內閣改造は長期戰體制下における日本が名實共にその擧國一致の體制を完成したものとして滿洲國各方面に於ては多大の好感を以て今後を期待してゐるが、池田成彬氏が藏相及び商相を兼たるは現下の產業經濟の實態とその行政を名實ともに一致せしむるものとして注目してゐる、殊に滿洲國產業經濟の中心をなす五ケ年計畫遂行より見たる場合五ケ年計畫がその基礎工作の完備に於て殆んど大部分の資金、資材を日本に求めてゐる關係上、今回の改造によつて池田氏が大藏、商工兩省の統率者として小異に捕はれず大局より物と資金との調整を圖ることは日滿一體の生產力擴充を期する五ケ年計畫の資金、資材が以前に比して遙かにスムースに行はれ得、計畫の遂行を促進するものとして池田氏の手腕に對して多大なる期待をかけてゐる

抱負を語る新大臣

宇垣外相

內外時局多事多難の折柄かゝる重大な任務の立場に立つことゝなり洵に恐懼感激措くところを知らない、只至誠すべてを捧げ最善を盡して大御心に副ひ奉らんことを期してゐる、自分は外交方面には全く經驗もなく今後各方面から種々敎へて貰はなければならぬこともあらうから、おひおひ諸先輩等にも會ふつもりだ、問題の對支機關や外務省機構改革案については自分も聊か考へてゐるところがあるが、實際の事情をよく檢討した上で又お話する機會があると思ふ、外交の軍略と言つても要は國交の調整を計ることが必要であらうが、まあ何かやるから餘り慌てずに靜かに見て居て貰はれ、外交方針の轉換とか何とか鳴物入りで騷ぐよりも國民は不言實行をこそ期待してゐるのではなからうか

池田藏相

今回計らずも大藏大臣、商工大臣を拜命致しその責任の重大なることを考へ只管恐懼すると同時に微力ではあるが力の限りを盡して御奉公申上げる決心である、大藏、商工兩省所管の事柄は現下の時局に於て最も緊要な問題で且つ相互に表裏の關係に立つ仕事が甚だ多いので兩省が混然一體となつて緊密なる連絡提携を保持することは戰時財政經濟政策の遂行上最も必要とするところである、この意味に於て從來より兩省の機能の一元化が、最も强く要望せられて來たのであるが、自分がたまたまこの兩省の仕事を併せ擔當することゝなつたのを機會にこの兩省の機能の一元化具現につき出來る限りの努力を致し度いと考へる、今後益々わが經濟力を綜合集中し事變の目的遂行に運用するので必要愈よ緊切なることを加ふるので自分は特に國民各位の擧國的協力を期待して止まぬのである、經濟に關しては急激なる變化を與ふることは適當でないと考へるので、今後の財政經濟政策の基調は從來のものを餘り變へる意思は有して居らない

近衛內閣改造の報に蔣政權大狼狽

對日策建直しも早や手遲れ

【上海廿六日發國通】全線にわたる敗戰の連續と國內諸情勢の全面的退嬰を餘儀なくされつゝある沒落過程において突如日本內閣强化の報を入れた國民政府の驚愕は相當深刻なるものがあり、精神的に極めて甚大なる影響を與へたものと見られてゐる、即ち外人側漢口消息によれば、國民政府軍政部要人等の動きは俄かに活潑となり悲壯なる空氣をたゞよはせつゝあり、寄々協議又は意見の交換がなされてゐる模樣でその混亂ぶりは蔽ひ難きものがある、蔣政權の作戰としては局部的敗戰を免れなくとも長期抵抗を繼續してゐる內に日本內部の自潰により最終的勝利を得るとの建前のもとにそれを唯一の賴りとしてゐるものであり、國民にこれを反復宣傳すると共に對外的には支那の抗戰力の强靱性を誇大に吹聽しつゝあつたが、今回日本內閣の補强特に五閣僚を軍人を以て宛てた改造には日本側の長期戰備の强化と實力の加重を現はしたものとして最初の見透しを根本的に覆へされ、支那側は恰も逆手をとられた形で最後的勝利の希望を失すると同時に對日策戰の根本的立直しの必要に迫られたるも時既に日暮れて道遠しの感あり焦慮煩悶の蔣政權の行手にますます暗い影を投ずるに至つたものと豫測される

メゼイ博士に勳三等贈與

【東京國通】畏き邊りではプラーグ市日本ハンガリー協會副會長イストワーン・メゼイ氏が日本、ハンガリー兩國文化親善に盡された功を嘉せられ勳三等瑞寶章贈與の御沙汰あらせられた

敗敵殲滅戰の戰果大いに擧る

二十二日以來の主なるもの

【北京廿六日發國通】徐州會戰後わが軍は敗走の敵を猛追して各所に潰滅的打擊を與へつゝあるが、廿二日以來の主なるもの左の如し

一、廿三日夜羅王寨にゐたわが○○部隊は石寨附近で自動貨車七十輛に乘り退却中の第百五十五師に屬する敵凡そ一千名の支那軍を擊破したが、敵の遺棄死體二百、輕機一〇、小銃彈藥等多數を鹵獲した、我方の負傷四

二、曲興集のわが○○部隊は第六十一、第百卅八師に屬し戰車、迫擊砲を有する約二千の敵を擊退、敵の遺棄死體五百、わが方戰死三、負傷四

三、○○部隊は廿二日午前七時永城北方十五キロの郭三皇廟を退却中の一千餘の敵を攻擊潰亂に陷れたが、この敵は晝夜兼行の退却に疲勞して戰意全くなく、又一部隊は廿三日午後六時卅分圓城集北方六キロ附近を退却中の凡そ三千の敵を潰滅せしめた、遺棄死體五百餘

四、わが○○部隊は廿二日大回村、呂家廟、圓城集附近の數千の敵に大打擊を與へ亳縣方面に敗走せしめた

五、桑田部隊ならびに○○部隊は協力して廿三日圓城集附近において雲南軍主力を攻擊しこれに大打擊を與へて潰亂に陷れたが、この戰鬪で桑田部隊は敵遺棄死體四百、捕虜三百名、機關銃四その他迫擊砲を鹵獲したわが方は桑田部隊長が輕傷を受け、戰死二、負傷廿七名であつた

六、廿三日夜半碭山占據の際わが軍は碭山驛より三個列車に搭乘退却せんとする敵を擊滅したが、わが軍は機關銃三、客貨車五十、戰車一輛を鹵獲した

七、わが○○部隊は廿二日正午頃永城南方において西南方に退却する第八十四師に屬する凡そ二千の敵を攻擊潰亂せしめた、敵の遺棄死體五百、捕虜廿六

八、廿四日わが○○飛行隊は亳縣南方を西に退却中の敵部隊を爆擊大損害を與へた

九、廿五日午後一時列車砲ならびに野砲を有する一千五百の敵は開封方面から羅王寨のわが軍に對し攻擊し來つたが、わが軍の猛擊により大損害を受け死體六百餘を殘して西方に潰走した

十、廿四日わが軍蘭封占領に際し大打擊を受けた敵は東方に退却、考城に入つたが同地には商震の指揮する第七十一軍がありこれと合した模樣である

隴海線西進部隊 牛王涸を占領

歸德攻擊の態勢

【濟南廿六日發國通】隴海線西進部隊は廿二日碭山歸德の中間牛王涸（歸德東方八里）において中央軍李英第廿四師の二個團と碭山より敗走した兵を混へた敵と交戰これを擊滅占領した、敵の遺棄死體およそ五百、迫擊砲二門、重機關銃十一を鹵獲し、さらに西方に猛進擊中である、牛王涸は歸德の前衛陣地として敵のたのんだところである、歸德附近には開戰當初およそ十個師がゐたが、今は各所からの敗殘兵が雜然と群つてゐるものと思はれ、わが虞城攻略と相應じていよいよ歸德陣地攻擊が開始されんとしてゐる

猛爆敢行

【濟南廿六日發國通】地上部隊の隴海線西進によりいよいよ歸德陣地の攻擊開始と相應じてわが陸軍の荒鷲部隊は歸德陣地に猛爆を敢行しつゝあり、わが高橋部隊は廿五日午後四時頃歸德停車場の東北側の朱集を、坂本部隊は歸德東南方二里半の袁集の陣地にある敵集團を爆擊、廿六日午前七時坂本部隊はさらに歸德南西の順河集、李口陣地を爆擊多大の損害を與へた、右個所はいづれも歸德を中心とする前衛陣地の一角で、歸德城は城壁外に二線、三線にわたつてこれら堅壘に守られてゐるなほ李口はわが爆擊に火災を起し火焰濛々と立上つてゐる

海軍機活躍

【上海廿六日發國通】艦隊報道部二十六日午前十時發表＝廿五日海軍航空隊の活躍次の如し

（一）馬野少佐の率ゐる爆擊部隊は南陽飛行場を爆擊し飛行場、附屬建物及びガソリン庫を炎上せしめ、また地上數機のうち一機を爆破す、敵機の向ひ來るものなし（二）寺永大尉の率ゐる他の爆擊部隊は襄陽飛行場を襲擊し飛行場、附屬施設を爆破、また老河口飛行場を爆擊し地上施設を爆破せり（三）陸軍部隊に協力し殘敵潰滅に協力せる海軍航空部隊は二十五日四十數機をもつて懷遠西方地區の部落に據る敵兵及び鳳臺北方ならびに潁州附近における集團部隊に對し爆擊を行ひ甚大なる損害を與へたり（四）海州方面敵集團部隊を攻擊せる部隊は數回にわたり反復極めて有效なる爆擊をなせり（五）南支方面においては粤漢、廣九兩鐵道の要衝を爆擊せり、粤漢鐵道溜江口南方黎塘驛附近施設に對し有效なる爆擊をなし線路三ケ所を破壞せり、廣九鐵道石龍驛構內に對し多數の命中彈をもつて鐵路數ケ所を破壞し構內および附近建物は直擊彈により急激に炎上を始めたり

列國の內閣改造評

伊

【ローマ廿六日發國通】イタリー官邊は近衛內閣の改造を歡迎し次の如く批評を下してゐる 近衛內閣の改造は內閣を非常に强化するもので現下の日本にとり最も適切な措置といへよう、新たに入閣した宇垣、荒木、池田の三氏は何れも總理級の有力者であるから極東永遠の平和のため戰つてゐる日本は新陣容によりその政策を徹底的に實現出來ようし、またイタリーとしてはその實現を望んでやまぬ

英

【ロンドン廿六日發國通】英國政府は近衛內閣の突然の改造に面喰つてゐる樣子だが、これは日本政府が徐州會戰を機會に愈よ長期戰の決意を固め、外交陣の强化並に財政經濟上の對策を確立する腹とみてゐる、しかして近衛內閣の改造斷行により對支政策が如何なる轉換を遂げるかは最も注目されてゐるところだが、宇垣新外相は日支紛爭を出來るだけ最も早く終結させるため從來よりも一層斷乎たる態度に出るのではないかと云ふのが一般の觀測である

米

【ニューヨーク廿六日發國通】近衛內閣の改造は米國政界では相當注目を惹いてゐるが、米國極東通の觀測は何れも今回の內閣改造の結果日本の對支作戰は强化するだらうといふに一致してゐる、財界の長老として信望の篤い池田成彬氏が藏相、商相として出馬した結果國策に對する財閥の協力をますます促進することゝなるので、この點確かに近衛首相の成功と見てゐる、宇垣大將の外相としての手腕は未知數と見てゐるが、一部では宇垣大將を入閣させたのは閣僚として一般國務に參畫せしめんとの目的に出たものであると觀測してゐる、なほかねて反ソ論者として聞えた荒木文相の返り咲きは相當の衝動を與へてゐる

佛

【パリ廿六日發國通】近衛內閣の改造に關しフランスの外交消息通は、少壯官僚政治家を整理して試驗濟の老巧政治家に代らしめた點が注目さるべきで、こゝに現れた擧國一致體制こそ日本が本腰になつて長期戰に腰を据ゑた證左として一層重大視すべきであらうと見てゐる

幼な友達船山翁 池田大臣を語る

池田成彬氏が藏相兼商相に就任したとの報に同じ米澤藩士で少年の頃から知合ひだつた新京特別市建國胡同五〇九に住む船山勘助（七一）翁はわが事のやうに喜びながら語る

非常時內閣を背負つて大藏商工兩相を兼ねるとはどうも偉い人物になりましたな池田さんの家は舊米澤藩の五十騎組勤番の家柄で、お父さんの成章といふ人が傑物でした、池田さんの今日あるはこのお父さんの敎育に負ふところが多かつたと思ひます、子供の時分からおとなしい人で、米澤では今日の池田さんを誰も想像だにしなかつた、とに角未曾有の國難を双肩に擔つて立つ人を米澤藩から出したことは嬉しい限りです

阪谷聯銀顧問離京

滿鐵理事辭任挨拶かたがた來京中の中國準備聯合銀行顧問阪谷希一氏は二十七日午後二時十分發あじあで滿鐵滿洲國銀行關係者多數の見送りをうけ奉天に向つて離京した

鮎川總裁歸京

東邊道視察中だつた滿業鮎川總裁は廿六日午後七時四十分新京着飛行機で淺原理事と共に歸京した

竹中前滿鐵理事

前滿鐵理事竹中政一氏は廿六日午後十時着列車で來京、ヤマトホテルに投宿した

內田事務官

滿洲視察のため來滿滯京中であつた內田對滿事務局事務官は北滿視察のため廿七日午後六時卅分發列車で哈爾濱に向ふ筈

田村司長歸京

嚴父死去のため內地に歸省中の經濟部稅務司長田村敏雄氏は廿五日「ひかり」で歸京した

人事往來

着京

▲渡正監氏（官吏）▲矢中快輔氏（會社員）以上二十七日ヤマトホテル ▲近藤正郎氏（滿洲輕金社員）▲圓尾明男氏（康德製粉）▲有近彌榮氏（旅順工大敎授）▲森田寛氏（運送會社重役）▲和田新松氏（同上社員）同以上國都ホテル ▲田原豐氏（滿航特航部）▲札場壽男氏（同上）同以上中央ホテル

出發

▲豐島信氏（關東刑務所）二十七日市內へ ▲山東實（大日本ビール）奉天へ ▲藤原秀則氏（滿洲豆稈）開原へ ▲曾根原憲篤氏（三井社員）市內へ ▲中井久二氏（延吉地方法院次長）延吉へ ▲松波鶴氏（阿波共同社員）奉天へ ▲上崎龍次郎氏（同上）奉天へ ▲森六郎氏（森六商店）奉天へ

その日く

□戰時强力內閣は愈よ實現した、日本の政治の躍進を其處に見やう

□新しい人的陣容に盛れるは强力性、經驗と識見とが物を言はう

□大陸政策の遂行への拍車、われら大陸生活者はそれを待望する

□意義深き海軍記念日に、歷史を回顧し現前の戰鬪を思ひ感慨は切

□更に世界に視野をひろぐれば列國海軍擴張に狂奔す、東亞を鎭める責は重い

世紀の怒濤に轟く無敵海軍讃歌譜

たゞ信頼と感謝の誠を示す

事變下に展く國都の行事

壽ぐ第卅三回海軍記念日

輝くZ旗の下第三十三回海軍記念日は來た、想起せば三十三年前の今日國民的感激興奮は今日尚續けられてゐる、支那事變下に新たなる意義を見出し日本内地と呼應して全滿的に意義深く擧行せられた、五月二十七日初夏の空は高く晴れ亙り市内各戸には早朝より日章旗が翻り感慨一入と深く感ぜられる、この日國都に於ける行事は特別市公署主催で行はれ先づ午前十時新京商業音樂協會のブラスバンドは駐滿海軍部前を出發勇壯なる行進曲を演奏しつゝ驛前より中央通を西公園に到り、十一時より西公園の奧深く全市民をあげての記念式典は擧行せられた

嚴肅な式典

忠魂碑前の式場には定刻前より續々と市民團體がつめかけ向つて左側には關東軍司令官席、駐滿海軍部席張總理各部大臣來賓席が設けられ右側には市長副市長海友會ブラスバンドが着席正面右側よりた鄕軍人分會、協和會分會國防婦人會、各種團體、日滿男子中等學校、日滿男女小學校日滿女子中等學校の順序で會旗を先頭に協和禮裝或は白襷姿も凛々しく居並ぶ

やがて定刻關東軍司令官の着席をまつて横田市公署官房庶務科長の開會の辭に始まり一萬の參列者起立のもとに國歌が演奏され軍艦旗がするくと桿頭高く揭揚され、一同忠魂碑參拜、一萬市民今ぞ皇軍大勝の三十三年前を偲んで頭をたれゝば颯々と心良い初夏の薫風がその上を通り過ぎる

續いて光榮のZ旗が揭揚され于特別市長壇上にたつて式辭を述べ終つて谷本駐滿海軍部司令官が感激の口調をもつて往時を物語り時局柄一段の奮起を市民に要望し、最後に植田關東軍司令官の發聲で大日本帝國海軍萬歳を三唱して十一時三十分式は頗る嚴肅盛大に終了した

當日の呼び物 軍艦爆破

式典が終了して今度は西公園池で模型軍艦爆破が行はれたこの頃市民は尚續々と入場し式典參加者も加はつて公園池畔は忽ち眞黑な人垣で埋めつくされた、池の中央にはどくろのマークをつけた海賊船が浮び數萬の觀衆はかたつをのんで今や遲しと爆破の時をまちかまへる、かくする裡に正午のサイレンが初夏の蒼空にこだまして鳴り響けば一同起立して一分間の默禱を捧げ先人の偉業を偲び戰歿者英靈を追悼する、やがて樹間より海の荒鷲模型飛行機がするくと池の中央の軍艦上に至れば轟然たる音響と共に黑煙を擧げて爆破が行はれた、池をとり圍んだ觀衆は期せずしてワーッといふ歡聲と共に一齊に立ち上つた、めらくと炎上する焰の間より爆藥がしきりに爆發した

說明 上西公園の式場（記事中）上ブラスバンド市中行進　中、海軍旗揭揚　下、模型軍艦爆擊

輝く軍艦旗揭揚 ＝駐滿海軍部＝

第三十三回海軍記念日を祝する國都の行事は特別市公署主催にて種々擧行されたが此の日駐滿海軍部では午前八時全員前庭に整列嚴肅なる軍艦旗揭揚を行つたのち參謀長代理村井副官兼參謀明治三十八年五月三十日海軍に賜つた勅語を捧讀ついで東鄕聯合艦隊司令長官の聯合艦隊解散訓示を朗讀つゞいて一場の訓示をなして式を閉ぢ司令官以下幕僚を始め全員西公園海軍忠魂碑前の市民式典に參列した

國都の咽喉を扼す浄月地區攻防戰

佳日期し勇壯に展開

首警士氣振作に多大の効果

軍國の春を彩る第卅三回海軍記念日の佳節をトし擧行された首都警察廳員の戰鬪訓練は關口副總監統監の下に廿七日早朝より浄月潭水源地附近一帶の原野に於て華々しく開始された、この日午前五時伊通縣城内に蜂起した賊團約百名は四十萬市民の生命線浄月潭水源地を破壞すべく午前二時頃水源地東方約六里伊通浄門を通過北上せりとの

想定 に基きこの通報を接受した首都警察廳では午前七時半管下各署に通報直に非常召集和順警察署前に於て小川特務科長を大總司令、濱田四道街署長を大隊長とする攻擊部隊（北軍）を編成水源地方面に向つて進軍を開始した、これより先森田警務科長を總司令に、木内警正を大隊長とする防禦軍（南軍）は水源地南方約二粁の地點に陣地を占領防禦の陣形を整へ盛んに斥候を出して偵察、北軍の攻擊に備へる、こゝに彼我

攻防 の祕術は各所に起る斥候兵の衝突と共に戰機次第に熟して展開午前十時半頃兩軍の距離は千五百米に接近戰はますく白熱化し催涙彈煙幕筒の使用防毒隊の活動或は傳書鳩の使用等彼我の距離迫ると共に水鄕の原野砲煙に煙り激戰亦激戰かくて午前十一時北軍の勇壯なる一齊突擊によりさしもの南軍も遂に全滅してこゝに市民の生命線浄月潭水源地は辛くも賊團の襲擊から免れるを得、戰鬪訓練に充分効果を收めて演習を終了、それより北側高地上平地に於て參加部隊の分列式を擧行次いで關口統監より

講評 の後焚出しの食事に舌鼓を打つて午後二時トラックに分乘意氣揚々と歸還、意義深き演習の幕を下した【寫眞は演習光景】

白衣の勇士 競馬場へ

新京陸軍病院外科内科の傷病兵中快方に向ひつゝあるもの百餘名は二十七日午後戸外運動を兼ね競馬を觀覽四時歸院した

二百萬圓の寄附

どうぞ一ぺんにお使ひ下さい

鮎川總裁の太腹

飛行機を利用して東邊道を視察、廿六日夜歸京した鮎川滿業總裁は廿七日午前九時國務院に張總理を訪問、星野長官谷次長、堀内弘報處長臨席の大臣室において東邊道ならびに三江省難民救濟資金二百萬圓の小切手を張總理に手交した、鮎川總裁は

東邊道と三江省の土匪、天災にさいなまれた人民救濟の資金としてこれを有効適切に使用していたゞきたいこの金を基金として積立るようなことなく短期間に窮民の福祉增進に行きわたるやう希望する

と述べたので政府はその主旨をくんで直ちに谷次長を委員長とする委員會を組織、右救濟資金の分配方法を講ずることゝなつた【寫眞は手交する鮎川總裁と張總理】

三十日午前九時から忠靈塔春季大祭

兼戰病歿者忠靈合祀

來る三十日の新京忠靈塔春季恒例大祭及び昭和十二年九月十八日以降に於ける戰病歿者の忠靈合祀祭は午前九時から左の式次第により嚴肅莊嚴に執り行はれる、先づ八時四十分迄に團體及び諸員、來賓着席、八時五十八分祭主軍司令官着席、次で神官着席、九時開式を宣せられる

先　修祓

次　御扉を開く（此間奏樂）

次　神饌獻饌（奏樂）

次　祭主祭文を奏す

次　祭主玉串奉奠

次　滿洲國皇帝陛下玉串奉奠

次　祭典委員長玉串奉奠

次　神職玉串奉奠

次　各代表玉串奉奠

1遺族代表2陸軍代表（關東軍參謀長）3海軍代表（駐滿海軍部司令官）4大使館代表（參事官）5關東局代表（總長）6合祀諸會社代表（滿鐵支社長）7滿洲國代表（國務總理）8新京特別市民代表（市長）9帝國在鄕軍人會新京聯合分會代表（聯合分會長）10傷痍軍人代表11婦人團體代表（滿洲國防婦人會會長）

次　式場内參列團體參拜

一、祭典委員長挨拶

一、閉式を宣す

一、祭主軍司令官退下

一、諸員及參列團體退場

一、式場外に待機せる團體參拜

一、撤　饌

一、御扉を閉づ

【備考】一、式場内に參列せる團體は陸軍部隊の「捧げ銃」の號令に依り同時に敬禮參拜するものとす二、式場外に待機せる團體は團體係の指示に依りて參拜するものとす三、個人參拜は團體參拜後とし概ね十二時以降とす四、撤饌、御扉の閉鎖は午後四時とし委員にて奉仕す

恒例滿鐵運動會

非常時種目五十餘

いよく來る廿九日西公園

國都行事として通年盛況を見せてゐる滿鐵陸上大運動會は二十九日午前八時から西公園陸上競技場で開催することゝなり過般來各委員にて準備を進めてゐるが本年は時局柄今までの如き餘興的運動を廢し非常時に相應しきもの五十餘種を決定炎天下大いに滿鐵魂を發揮することになつた、大會及び各軍役員並びに次第は左の如くである

▲大會長平島敏夫▲副會長古山勝夫稻川利一▲總務塚本良績▲陣軍代表田崎義雄監督福原篤總、主將伊藤春男▲綠軍代表本野仁治監督川西信藏中將本野仁治▲紫軍代表本島弁男監督仲田周

一主將田中禾▲入場式次第役員選手應援團入場、日本國旗揭揚、滿洲國旗揭揚（各軍代表）滿洲社旗揭揚（各軍主將）社旗揭揚（各軍應援團長）開會の辭（平島會長）皇軍戰歿將兵並に殉職社員の英靈に對し默禱、委員長注意、合同體操（社員會体操）競技開始▲優勝旗授與式日本國旗降下（各軍代表）滿洲國旗降下（各軍主將）社旗降下（各軍應援團長）閉會の辭（平島會長）大日本帝國萬歳三唱（平島會長）滿洲帝國萬歳三唱（古山副會長）南滿洲鐵道會社萬歳三唱（稻川副會長）

朝鮮紹介映畫大會

今夜八時普校々庭にて

協和會朝鮮人分會は大使館朝鮮課の後援を得て廿七日午後八時より新京普通學校々庭に於いて左の如き朝鮮紹介映畫を開催することに決した

一、内鮮滿周遊映畫（朝鮮篇）

一、新興朝鮮

一、大金剛山の譜

尚入場無料で一般の來場を歡迎すると

地方官東訪日團今夕歸京

地方官東訪日視察團一行廿四名は日本各地の視察を終へ廿七日午後八時四十五分着列車で歸京の筈

籠球代表今夜歸京

去る十四日より東京に於て開催された日滿比對抗籠球大會に出場した滿洲籠球代表十四名は二十七日午後十時着急行で歸京する

携帶用アサヒス タッピー好評

大日本麥酒株式會社では家庭向きとして變り型小瓶「アサヒスタッピー」を發賣、ピクニック等に携帶便利と家庭に於ける少量飮用に歡迎されてゐる

よくアタルと大評判 鑑定者夥多のため 來る六月三日まで 每日朝九時より夕六時まで 迷信を排し科學に立脚せる新しき人相學 東京高島派

日のべ

易斷／日 運勢 適業 結婚 縁談 相性 其他

高島聖象先生

傳統的高島易斷の妙理を用したる獨特なる判斷 掴めよ運勢！輝く幸運に！　希望！達せよ目的

觀相 普通壹圓 特別三圓

場所 新京吉野町 記念公會堂にて

地相 人相鑑定台議の上

あす（廿八日）

▲全滿都市對抗ラグビー、午後一時半、中銀球場

▲朝鮮物産即賣展見本市、寶山

▲朝鮮の夕、午後六時、西廣場俱樂部

▲玉川勝太郎公演、公會堂

▲レコードコンサート、公會堂

▲競馬

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠（東京）谷口露子▲七・四〇講演「事變下に海軍記念日を迎へて」海軍大將安保淸種▲八・〇〇續ラヂオドラマ「東鄕元帥」（東京）新國劇出演

“いろは系圖”
中村、木谷の顔見世映畫　松竹京都

◇…新入社中村時三郎と木暮富美子の顔見世映畫、冬島泰三が自らのシナリオにより演出に當る、所は浪華、時は春、滿開の櫻と、絢爛たる美女群を背景に新入御兩人の紹介に華やかな趣向が添ひ、製作者の力の入れやうも察せられて羨しいスタートである、坂東橘之助、葉山純之輔等また御兩人を助けて大童、長二郎が拔けて寂寥蔽ひ難い松竹時代劇陣にこの御兩人の補充が何處まで芽を出すか、これは今後の問題として、ともかくこの一篇御兩人御披露目の役目だけは果してゐると言へる。

◇…酒間屋の次男坊宗六（時三郎）は許婚お紺（伏見）がありながら放蕩三昧、花見の席で知合つた踊りの師匠お妻（木谷）を三人組强盗の一人と目星をつけて接觸する裡に戀仲となる、お妻の父親と仲間が二人の間に絡んでゴテた擧句が、宗六、お妻の不信を詰つて喧嘩分れ、お縫と目出度く擧式の夜、一目宗六に逢ひに來たお妻を斬つた仲間を殺めた宗六、お縫と共に心中して果てる。

◇…ストリイは情話ものとしては殆ど定石の布置、脚本演出とともに隙が多く、お妻を夜盗一味としたところに妖しい魅力を添へやうとしたものらしいが、宗六がお妻を女盗と疑ひながらその愛情に陥んでゆくあたり細やかさを盛つて描かれてあるべきであつたお妻に裏切られたと思ひ込んだ宗六の怒り、これもお妻悲戀の最後を飾るためにはもつと親切に描かれてあるべきであらう、さうした人物へ感情の流れが畫面内に多く見られないのが全體を通じての難

◇…結婚式の夜、戸外で花婿が悪黨相手に大殺陣を演じてゐるのに屋内の人達が氣がつかないなど演出の上にもう一工夫欲しいところであつた御兩人の顔見世映畫に止る。演技に就て言ふ程の個所見當らず。長春座上映中（N生）

取柄▼事變を扱つたものも、かうした方向に低調でない纏りを見せたら結構コクのあるものが出來さうだ、金をかけた戰爭シーンがあつても寧ろくだらぬものはくだらぬし、かうした銃後の人達の姿を取り上げていゝものよ出て來い！

淡谷のり子一行
あすから長春座へ

コロムビア專屬淡谷のり子、半島出身新進舞踊家李俊喜、天才少年日本舞踊永井滋、ピアノ伴奏淡谷とし子一行の唄と踊りのステーヂアトラクシヨンは廿八、九兩日長春座において開演するが、プログラムは左の通り【寫眞は淡谷のり子】

（1）獨唱
愛國行進曲
露營の歌

（2）舞踊
（タップ）ワルツ　淡谷のり子
李俊喜
薄野　永井滋
スキートゼエリー　李俊喜

（3）獨唱
別れのブルース
人の氣も知らないで　淡谷のり子

（4）舞踊
伊達奴　永井滋
タンゴ・ローザー　李俊喜

（5）獨唱
ボエマ
ラ・スパニヨーラ　淡谷のり子
ピアノ伴奏　淡谷とし子

諸珍藝妙藝の集團
八千代會一行
來月一日から開演

若葉の夏の宵にふさはしい完無双笑の王國を以て任ずる萬歳と舞踊の八千代會といふ大一座が來演する、會場の都合で六月一日は西廣場の滿鐵倶樂部、二日と三日は公會堂で開演する、プログラムは萬歳十景、ナンセンス二齣、唄狂樂一場、ヴラエテー三景、軍國〻ケッチ一景、新舞踊二景、日本一自轉車曲乘一場、特別出演猫八の一行等々で毎日藝題を替へる入場料は普通一圓のところ本紙愛讀者は半額五十錢に割引の特約が出來た、一兩日中に割引券を添付するから利用されたい

サボテン

ミス東洋の高峰君、近頃彼女を高峰と呼ぶ者がとんとなくなつた、曰く『一秒ラブ』と呼ぶ、その理由が一寸席に腰を落ちつけたかと思ふと有頂天にする様な言葉を投げかけておいてサッサと次のテーブルに移つてしまうのだつて、一秒ラブのいわれであるが、こと程左様に彼女は多忙であるのである▼亞細亞會館に加代子と呼ぶ新人がデビューした、彼女は芳紀正に二十歳、松山市の産、松山高女を出て九州別府市ビリケンダンスホールの明星として斷然人氣を獨占してゐたんだが、何が彼女をさうさせたのかはるぐ

滿洲カフェー界に轉向した▼『妾家庭に金なんか送る必要がないの―オムコさんいやだわ、妾結婚なんか斷然いやだわ、獨立の希望に燃えて働くの―』と言ふやうなわけ、まことに殊勝であり物凄い意氣しつかり頑張りたされと紹介し激勵しておく▼結婚の問題が持上つた場合すべての若い女性がこれを拒否するのは定石とするところで敢て珍とすることではないが、銀座會館の高子君もその一人、但し彼女は結婚といふより今年一杯を期限としてその間戀愛を斷つことを闡明してゐるのである▼押し通せるかどうかとても危い、盞しそれかあらぬか彼女は近頃酒に酩酊しない日はないと言ふ程酒にひたつてゐる▼いくらなんでもあの酩酊した姿を見ちやア男の方から逃げ出してしまふ、まさか男避けの酒ではあるまい―

雑音

長春座初日の入りは平調、廿八、九兩日の淡谷のり子一行のステーヂアトラクシヨンが控へてゐる所爲でもあらう▼「いろは系圖」と併映の「わが心の誓ひ」は小品ながら婦人客を頼りに泣かせる、野田高悟の脚本は戰歿將士の内縁の妻が夫の肉親との間に介在する感情の相剋に惱む姿を狙つたもの、器用な商品として一應纏りを見せてゐるが、宗本英男の演出は隨分二枚ばかり好調で思はず御るものを引きしめるのが

東京・本郷・神誠館

●一白の人　臨審の念を退けて程を守るべし然る時は吉　甲と乙と丙が吉
●二黑の人　辛酸勞苦も耐忍すれば後は却て喜びとなる　辛と癸と寅が吉
●三碧の人　萬事意に滿たざる日焦るほど不利に傾かん　乙と丙と丁が吉
●四緑の人　實意を他に注ぐとも一向人には認められず　甲と丁と丑が吉
●五黃の人　虚心能く他の言を容るれば良好に向ふべし　庚と子と寅が吉
●六白の人　利慾に耽り義理を忘れ他より擯斥せられん　丁と壬と癸が吉
●七赤の人　幸運再び巡り來れども焦れば取逃す怨あり　丙と庚と壬が吉
●八白の人　他に頼らず根氣を以て到達を期するが吉し　壬と子と癸が吉
●九紫の人　勇氣に馳せて意外の失敗を招かんとする日　乙と辛と丑が吉

内鮮滿交通連絡に根本的方針樹立

近く開催の運輸會議に總局提出案

滿洲國ならびに北支方面の異常なる躍進に伴ひ近時日、滿、支相互間の交通は非常に頻繁となり、現行の各種連絡規則乃至運賃政策をもつてしては到底これが圓滿なる發展を期し得ない現狀となつたので、鐵道總局においてはかねてより右に關する具體的方策につき鋭意研究を進めて來たが、この程各般にわたる根本方針の樹立を見るに至つたので、來る六月六日より約一週間奉天に鐵道省、朝鮮鐵道局、大阪商船をはじめ關係各運輸機關代表者を招致して内鮮滿連絡運輸會議を開催、右に關する總局の原案を提示して關係各方面の隔意なき意見を聽取することゝなつた、しかして同會議に提出される總局立案の中心議題は

一、日滿支客、貨連絡運送規則の制定

滿支間交通の頻繁化に備へて本年四月一日滿鐵所管線と北寧鐵路局線間に客貨連絡運送規則を設けたが、更に最近における内地朝鮮、北支間における客貨輸送の激增に鑑み右滿支間連絡運送規則の適用範圍を鐵道省線朝鮮鐵道局線にまで延長、新たに日滿支間を一貫する客貨連絡運送規則を制定しもつて内地、大陸相互間交通連絡の完璧を期する

一、日滿支貨物直通運賃の制定

連絡運送規則の制定と相俟つて更に日滿支間における貨物の直通運賃制度を設け商取引の圓滑、交易の發展に資するとゝもに北支一圓の開發促進に一層の拍車を加へる

一、内鮮滿小口貨物直通運賃の是正

日滿商取引の圓滿なる發展を圖るべく制定された内鮮滿小口貨物直通運賃制度はその後日滿貿易の急速なる進展その他諸情勢の變化に伴ひ當然改正の必要に迫られるに至つたのでこの際右制度の根本的再檢討をなしもつて日滿間小口貨物輸送の迅速化をはかる

一、鮮滿相互間車扱直通運賃の制定

鮮滿一如の波に乘つて近時朝鮮、滿洲間の貿易は一段と活況を呈するに至つたので、今回新たに鮮滿相互間車扱直通運賃を制定し彼我貿易の一層の發展に寄與する

一、滿鐵會社荷物運輸規則の制定

從來社線、國線、北鮮線各區域別に制定されてゐた荷物運輸に關する諸規則を全面的に綜合して新たに滿鐵會社荷物運輸規則を制定する、しかしてこれが制定に當つては關係運輸機關との密接なる連絡その他各般にわたる情勢の變化を考慮に入れ最も妥當なる規則を設け、運輸業務の迅速且つ圓滿なる遂行に資する

等であつて總局ではこれら諸問題に對する關係機關の意見を基礎として更に徹底的研究を重ねた上、いづれも本年内實現を目標に準備を進める段取になつてゐるが、右諸懸案實現の曉は日、滿、支間の交通は更に飛躍的發展を遂げるべく同會議の成果は大いに注目すべきものがある

新五ケ年計畫に對處する　電業奉天支店

滿洲國新產業開發五ケ年計畫に基く國内電力資源確保五ケ年計畫は先頃新京で決定を見たが滿洲電業奉天支店では右に基き奉天支店管内に於ても既成案に修正を加へ新五ケ年計畫を樹立すべきだとの見解の下に前五ケ年計畫による工業動力需要一般電氣需要量を目標とする奉天市内五變電所總量が本年九月をもつて北二路三萬、若松町一萬五千、大東邊門一萬五千、四馬路一萬五千計七萬五千キロとなるも現在の電力需要增加率によると既に余力が僅少でやがて不足を見るに至るべくこれに備へて變電所增設計畫を速急實現すべきであるとなし右に伴ふ渾河變電所增設ならびに鴨綠江水電鏡泊湖水電等の建設による送電配電等からも修正五ケ年計畫を奉天支店電獨自の立場で樹立することゝなり、近くこれが技術的調査研究委員會を設け約一ケ月にわたつて最後的計畫具體案を檢討することゝなつた

昭和製鋼增產計畫　滿鐵重役會議に說明

廿六日午前、午後に亘つて開催された滿鐵重役會議において小日山昭和製鋼社長は昭和十五年三月完成の第四次增產計畫の進捗狀況ならびに滿洲國產業五ケ年計畫修正に伴ふ第五次、第六次鐵鋼增產計畫につき種々說明を試みたが右によれば第五次、第六次の增產計畫は一つに纏めて第四次完成の昭和十五年度より同時に着手され十六年末完成を目標に積極策が進められるものの如くである、かくて目下進捗中の同社第四次增產計畫は銑鐵百九十萬噸（内ルッペ廿萬噸）鋼塊百八萬噸、鋼材五十八萬噸にして去る十四日滿洲國政府非公式發表の修正五ケ年計畫鐵鋼生產目標たる銑鐵五百萬噸、鋼塊三百五十萬噸、鋼材二百萬噸より見れば昭和製鋼に割當らるべき第五第六次の計畫は頗る尨大のやうであるが大體銑鐵四百萬噸鋼塊二百五十萬噸、鋼材百五十萬噸がその目標と見られるなは第三、第四、第五、第六次の增產計畫の所要資金は總額およそ六億圓を豫想され社債および社內保有金一億圓現在資本金一億圓の增額增資等により賄はれる模樣である

奉天農事合作社　業務監査

奉天省實業廳は六月上旬より向ふ一ケ月間管下各縣農事合作社に對し第一回業務監査を實施する事となつた

奉天輸組總會

奉天輸入組合第十一回定時組合員總會は卅日午後二時より萩町滿鐵社員俱樂部で開催されるが議案は左の如くである

一、昭和十二年度事業報告書、貸借對照表、財產目錄、損益計算書、剩餘金處分案の件
一、新規加入者事後認諾の件
一、評議員職務執行に關する件
一、定款變更の件
一、組合資產處理に關する件
一、聯合會資產の處理に關する件
一、理事其の他役員慰勞金從事員退職慰勞金支出に關する件

商況欄　廿七日前場

海外經濟電報

倫敦金塊　七磅〇志九片〇〇
紐育金塊　三五弗〇〇
倫敦銀塊　一八片一六分三
同先限　一八片二分一
紐育銀塊　四二仙四分三
孟買銀塊　四九留比六分一〇

▲紐育株式
スチール株　四〇弗四分一
アナゴンダ株　二一弗八分一

▲市俄古小麥
五月限　七一仙四分三
七月限　七二仙四分三
九月限　七四仙〇〇

▲紐育棉花
現物　八仙〇八
七月限　八仙〇八
十月限　八仙一〇
十二月限　八仙一三
一月限　八仙一四
三月限　八仙一六
五月限　八仙二〇

▲印棉
ブローチ　一三二留比四分三
オームラ　一三六留比八分三
ベンゴール　一二三留比二分一

▲カルカツタ麻袋
青筋　二二留比八分〇
鐵筋　二〇留比〇〇三

▲外國爲替
米英爲替　四弗九四仙八分七
米日爲替　二八弗八六仙
米支爲替　二二弗八七仙
英日爲替　一志二片〇〇
英支爲替　一片四分一
英佛爲替　一七八法郎三七
印日爲替　七八留比四分三

▲滿洲中銀爲替
紐育向　二八弗一六分三
倫敦向　一志二片〇〇

▲阪神爲替
對米買　二八弗　[illegible]
對英買　一志二片〇〇　[illegible]

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一三一八〇	一四〇六〇
帝新	一二三七〇	一二三八〇
鐘新	一二〇五〇	一二四七〇
洋新	九一三〇	九〇三〇
大新	八五五〇	八六八〇

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	八四〇〇	八五〇〇
新新	一三一四〇	一三〇〇〇
鐘新	一三五〇〇	一二八五〇
滿鐵	八〇五〇	八〇三〇
日清	六三三〇	六三一〇

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	一三七〇	—
東新	一三〇六〇	—
滿業	八〇四〇	—
同新	六五〇〇	—
鐘新	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	—
同新	一三五〇	—
土木	一一九〇	—
豆新	[illegible]	—

各地商品市況

▲大阪綿糸

限月	寄付	大引
五月限	二二三五〇	二二三五〇
六月限	二一六四〇	二〇七〇〇
七月限	[illegible]	—
八月限	一九九五〇	—
九月限	二〇〇五〇	—
十月限	二〇〇五〇	—
十一月限	二〇〇五〇	—

▲大阪棉花

限月	納	會
五月限	[illegible]	—
六月限	五〇一〇	—
七月限	五〇一五	—
八月限	[illegible]	五一四〇
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	八五〇〇	八五八〇
先限	八八五〇	八七八〇

▲大阪期米

限月	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲橫濱生糸

限月	寄付	大引
現物	七〇〇	—
當限	六八〇	—
先限	七〇五	—

各地特產市況

▲新京

品目	寄	引	出來高
大豆 現物	—	—	—
五月限	六、三五	六、四三	五〇車
六月限	六、四〇	六、五三	二〇車
高粱 五月限	—	—	—
六月限	—	—	—
現物	—	—	—
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—

▲大連

品目	寄付	大引
大豆 袋入	七三三	七六六
五月限	七二七	七三三
六月限	七三五	七三一
七月限	七三一	七三六
八月限	七三七	七四五
九月限	七四三	七四八
三等豆	—	—
豆粕 現物	三三〇〇	三三四〇
六月限	三三五〇	三三六〇
七月限	三三九〇	三三一〇
八月限	三三三〇	三三五〇
九月限	—	—
十月限	—	—
豆油 現物	一七二〇	一七三五
六月限	一七五〇	一七六〇
七月限	一八〇〇	一八〇五
八月限	一七九〇	一八二五
九月限	—	—
十月限	—	—

戰時小說　敵前銃後（二十九）

山岡弘
木原芳樹畫

（禁無斷轉載上演）

珠數つなぎ（七）

汐見は決して死んだ眞似をしてゐたのではない。失神してゐたのだ。假死の狀態に陷つてゐたのだ。

靜子も亦さうであつたらしい。

と、鬼畜に等しい保安隊と大學生との銃殺隊は、其場に死人の山を築いたまゝ、悠々と引揚げて行つた。

そのあとに只一人、ピストルを手にした保安隊員が殘つて、死人の山を踏み越えつゝ完全に死んでゐない者のありはせぬかを、調廻つた。

その保安隊員が、汐見の傍へ廻つて來た。

汐見の身體を足蹴にかけて

『オヤ！』

と思つたらしかつた。何處からも血が出てゐない。

だが、すぐピストルを射たうともせずに、安心し切つて悠々として、汐見の身體を調べやうと、二三度足で蹴り返した。

途端に、猛然として起き上つた汐見である。

彼は、その弱氣な、その臆病な、日頃の性質に似氣もなく、いきなり狂氣の如くにその保安隊員へ武者振りついて行つた。

蹴返されて氣がついた時、自分のまだ生きてゐることを知つた彼は、何うせ殺されるものとしての最後の反抗を試みたのである。

何時か、彼の手首から荒繩のいましめが解けてゐたのは彼に取つて思ひもかけぬ神の助けであつた。

それが餘りに不意だつたので保安隊員は面喰つた。死んでゐるものとばかりきめてかゝつてゐたのが、突然に跳起きたさへあるに、ヘッと思ふ間にもう武者振り付いて來てゐるのだから、保安隊員は全く油斷をしてゐただけに狼狽した。思はず怯んだ。彼はたぢ〳〵と二三歩身をひいた。

その隙に乘じた汐見が、平素の彼には考へられぬ程の渾身の力を籠めて、一氣に押し立てた。

よろ〳〵と後すざる途端に其場に横たはつてゐる死骸に足を取られて、バッタリ仰向けに倒れた保安隊員の上へ、一緒に倒れかゝつて膝下に組敷いて了つた汐見が、隙さず咽喉輪を責めにかゝつた時には不思議にも彼の今まで知らなかつた勇氣が湧然として生き起つた。

此奴さへ殺せば逃げられる！そんな考へからの勇氣ではない。無性に只憎かつた。同胞の仇敵！こんなにも多人數を虐殺した鬼畜のやうな奴を此儘生かして置かれるか！おのれ！日本人の怨み、思ひ知れ！さばかり闇雲に憎くてたまらぬその憤怒が、彼に不思議なほどの勇氣と腕力とを與へたのである。

『こ、この、この野郎！』

咽喉輪を責めてゐる腕へ、しがみついて來る相手の手を振り拂ふと、續けさまに鐵拳が三つも四つも保安隊員の横面を見舞つた。

だが、保安隊員とても山賊かとも見える程の荒くれ男である。そのまゝ汐見に組敷かれたまゝでゐる筈がない。横面を二ツ三ツ撲らせて置いてパッと大地を蹴つた保安隊員が、次の瞬間には汐見を跳返して跳起きてゐた。

跳返されて、汐見の身體が保安隊員から三尺ほども離れた時、その時だつた。

突然！それは間髮を入れぬ突然さだつた。パン、パンとピストルが放たれた。

ハッとして汐見は、何處からか自分が狙撃されたのだと思つた。

あゝ、自分はやつぱり撃たれるのだ！死ぬのだ！その儘スーと氣の遠くなるのを覺えた。

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

漢口に危機迫つて 蔣、督戰防備に焦慮す
敗殘各將領に躍起の命令

【上海廿七日發國通】徐州會戰においてもろくも慘敗を喫した支那軍は、息もつかせぬわが猛追擊と巧妙な包圍殲滅作戰によつて各軍團何れも四分五裂となり、將校等は身をもつて辛うじて危地を脫し、安徽省境から隴海線沿線南方に逃れてゐる、漢口すでに累卵の危きにありと直感した蔣介石は、左の如き督戰防備命令を敗殘各將領に發し、危機迫れる漢口防備に躍起となつてゐる
(一)湯恩伯、張自忠、關炳勛は速かに部隊を歸德、永城に集結し南下の日本軍を包圍潰滅すべし(二)廖磊は六安附近に兵を集結し速かに廬州を奪還せよ(三)商震は主力を開封附近に置き黃河北岸方面及び東方地區より進擊し來る日本軍を阻止防戰すべし(四)胡宗南、關麟徵、黃光華等は信陽附近に兵を糾合し漢口外廓防備の完璧を期すべし
なほ確實なる情報によれば、宋美齡も徐州陷落に引續き津浦、隴海兩線の各要衝が續々日本軍の手に歸しつゝあり、日本軍の漢口進擊は必至なりとて漢口防備に不安を感じたか、廿四日漢口より飛行機で軍慶に向ひ四川軍增援の督促に努め頗る焦慮してゐる

漢口で强がり演說

【上海廿七日發國通】蔣介石は去る二十二日漢口における各軍長將領會議の席上
我軍は最も巧妙に完全なる方法をもつて漢口を防備するであらう、日軍は既に全兵力の百分の六十を消耗し全く怖るゝに足らない、今後われ等の使用する武器は小銃、機關銃もソ聯製をもつてするから訓練は特に注意すべし
との訓示を與へたと傳へられるが、更に徐州附近より撤退せる諸部隊に對し
今後日軍占領區域內における遊擊隊を有利ならしむるため彈藥、武器を諸所に集積巧みに隱匿せよ、よつて占領區域內にあつて好機を捉へ遊擊戰をなすべきである、わが軍相互の連絡は困難であるが合言葉によつて連絡をとるべし
との訓令をなしたといはれる

七ヶ所の飛行場粉碎
荒鷲隊愈よ猛威を發揮

【上海廿七日發國通】廿七日正午艦隊報道部發表＝廿六日我海軍航空隊は左記活動をなせり
(一)浦城飛行場を空襲せる爆擊部隊は九型機二機を發見して之を爆破し、又飛行場滑走路を爆破せり(二)玉山飛行場を襲擊せる部隊は地上に飛行機を認めず滑走路を爆破せり(三)麗水飛行場を空襲せる部隊は新設大燃料倉庫を爆擊、滿積せる揮發油は猛烈に炎上し火焰天に沖す(四)徐州方面より大部隊の敗殘兵六合北方地區に逃入せるを認め總計約七十機を以て終日反復爆擊し敗殘兵の據れる二十餘の村落に對し極めて有效な爆擊をなし、敵の死傷多大なり(五)長江飛行場を空襲せる部隊はその飛行場施設を爆破せり(六)龍岩飛行場を空襲せる部隊はその飛行場施設を爆破せり(七)溫州飛行場を空襲せる部隊は飛行場施設格納庫を爆破せり(八)南支方面に於て引續き粤漢線路を澁江口南方に於て爆擊し線路六ヶ所を切斷又は埋沒せしめたり

【上海廿七日發國通】二十七日午後三時艦隊報道部發表＝鈴木少佐の指揮する精銳約十機は二十六日午後南城飛行場を空襲し、地上に在りし中型機四機の內二機を直擊爆破せり、本飛行場には右の外大型機六機を認めたり、この外飛行場附屬大型建物及び格納庫を爆破せり

有馬部隊 蕭縣入城
北上軍と握手

【濟南廿七日發國通】徐州西南方の敗敵を追擊潰滅しつゝある有馬部隊は廿六日蕭縣に入城、同地にある北上軍と固き握手を交した、同地方の住民は戶每に日章旗を揭げ皇軍を歡迎してゐるが、附近の敗殘兵は食糧の缺乏に困憊し右往左往して逃げ廻つてゐる、なほ原口部隊は廿六日徐州東方三十キロの入義州附近で多量の彈藥、食糧を滿載した軍輛を鹵獲した

對支中央機關問題 來月中旬頃決定
實質的政策遂行へ

【東京國通】政府は陣容一新後第一着手として懸案の對支中央機關問題の解決に乘出し對支經營の萬全を期する方針であるが、同問題に關しては中心閣僚たる外相その他の更迭を見たゝめ勢ひ再檢討を加へる必要を生ずるに至つたが池田、宇垣、荒木三氏の入閣によつて內閣が一段强力のものとなつた結果、政府部內においては從來論議された尨大强力機關設置の必要性が著しく稀薄となつたので、寧ろ小規模の機關により實質的對支政策を遂行すべきであるとの意見が有力化して來た、しかして同機關問題は來る卅日渡滿する大谷拓相の歸京を待つて來月中旬頃閣議の正式議題となる模樣である

維新政府管下の自治委員會議
けふから三日間開催

【上海廿七日發國通】維新政府ではかねて地方行政の整備に努力しつゝあつたが、二十八日より三日間維新政府管下の自治委員會委員三十餘名を招集、地方行政に關する第一回全體會議を開いて諸般の問題を討議することゝなつた、會議は維新政府上海辦事處において行はれ、第一日は行政院長及び各院部長の祝辭及び自治委員會代表の答辭をもつて終り、第二日より各自治委員會代表の報告及び討議に入る筈で、今次會議の結果地方自治委員會では可及的に縣政府その他の地方自治團體に改組させ地方行政の整備に向ふものと見られる

蘭封逆襲の敵を反擊

【濟南廿七日發國通】蘭封攻略の〇〇部隊は廿五日石寨、蘭封西方十キロに於て同地の十五師に屬する迫擊砲數門を有する野砲第二連、千四百の敵を擊退した、敵の遺棄死體數百に上る全滅的打擊を與へて、午後一時これを占領、なほ〇〇部隊は廿六日午前陣留口の渡船場西南一里劉庄、唐牛庄附近において戰車五輛を先頭に逆襲し來つた卅五師と交戰これを擊破して戰車二輛を鹵獲した、敵軍は死力を盡して蘭封奪回を企てゝ蘭封及び西方のわが軍に戰車、重迫擊砲等の精銳裝備を以て攻擊し來るがその度每に反擊、擊退された、わが軍は着々戰果を擴張中である

徐州陷落後の鹵獲品山積

【徐州廿七日發國通】徐州陷落後廿六日までに判明した〇〇部隊の鹵獲總計左の如し
小銃彈 二、六〇〇、〇〇〇發、手榴彈 四〇、〇〇〇個、各種砲彈 一五、〇〇〇發、機關車 六〇輛、車輛 一、三〇〇輛
その他軍需品多數

天皇皇后兩陛下 通州遭難者に祭祀料御下賜

【東京國通】天皇、皇后兩陛下におかせられては昨年七月二十九日の通州事件遭難者百五十一名に對し破格の思召をもつて二十六日外務大臣を通じて特に祭祀料を御下賜あらせられた

前三大臣參內

【東京國通】廣田前外相は廿七日午前九時五十分、吉野前商相、賀屋前藏相は同十時二十分相ついで宮中に參內、在任中の御禮言上の伏奏をなし退出した

將官視察團國務院訪問

目下滯京中の將官滿洲視察團
三輪中將一行は廿七日午前十時國務院に張總理、星野長官を訪問、挨拶を述べた後堀內弘報處長から約一時間に亘り滿洲國の各種事情を聽取し、引續き映寫室に於て「伸び行く國都」などの滿洲紹介映畫を觀覽した

產業經濟の戰時體制 軍需資材確保へ
池田新商相の財經策

【東京國通】池田藏相の商相兼任によりわが戰時經濟財政策は人的に一元化されることになつたが、池田商相としては長期戰に對應して蔣政權の徹底的擊滅のため軍需資材の確保に邁進すると共に民需を含む軍需品の需給改革方針を樹立し、臨時物資調整局の全的活動と順次民間に進出すべき產業協議會並びに中央、地方の物資委員會の積極的强力化を圖り、これにより生產配給消費の一貫的强力統制に本格的に乘り出すことゝならう、更に吉野前商相が現行の輸出入品臨時措置法に基き行つて來た輸出入商品に關する統制方針は新に再檢討が加へられ輸出入計畫の建替へ、建直しが斷行されるに至るべく延いて少くとも生活必需品を含む全商品に對し總動員法が適用されるは必至であり、かくてわが產業經濟の全面的戰時統制が本格的に開始されることゝならう

大改造後の初閣議

【東京國通】大改造によつて面目を一新した近衞內閣は廿七日の定例閣議が初閣議の形となり池田新藏相兼商相が九時五十分一番乘で首相官邸に入り、次いで荒木文相、宇垣外相と新閣僚が出揃ひ、木戶厚相を殿りとして病氣缺席の有馬農相を除く各閣僚が參集十時十分閣議を開き、先づ近衞首相より廣田、賀屋、吉野三前閣僚の辭職理由を報告して後新閣僚を紹介し
內閣はこゝに軌を新たにして事變對策に邁進せねばならぬ、各員の切なる協力を望む
旨の挨拶を述べ、次いで杉山陸相より一般戰況について報告し、最後に今後の方針について雜談的な意見の交換を遂げ同四十分散會した、然して政府は所謂戰時內閣としての陣容建直しの意義を效果あらしむべく積極的時局擔當の決意をもつて對內外重要政策の遂行に邁進すべく、改造前より懸案となつてゐる對支中央機關設置問題急速解決をはじめ戰時財政經濟の强化 國民總動員計畫の再組織、文敎刷新、政治行政機構の改革等あらゆる部門にわたり戰時體制の强化に進むものと期待され次期閣議よりはこれ等重要策を順次とりあげて審議を進めるものとみられてゐる

【東京國通】廿七日閣議決定事項(一)陸軍服制改正の件(二)陸軍法務官、陸軍法務官試補および陸軍監獄長服制改正の件(三)陸軍監獄看守長、同看守および陸軍警察服制改正の件

宇垣、池田兩相 正に大傑作
各紙大好評

【東京國通】宇垣外相、池田藏相に對する各新聞の好感は素晴しいものであるが、東京の某新聞の短評子が左の如く評してゐるなど代表的のものである
近衞內閣の大改造は迅速果敢に行はれ、立派な國家總動員體制の內閣だ、これでこそ軍事目的と政治目的とが美しき一線となつて國民的團結を思ふ存分に發揮出來るといふものだ、宇垣外相、こいつは傑作だ、大傑作だ、殊に宇垣の國民的人氣を知つてゐる外國の印象もいゝ、將にこれ外交の更生だ、この外交たるや霞ケ關型の外交ではなく國民的の外交で政治と外交との渾然一致する外交だ、それは尠くとも內田外交、幣原外交以前の外交を思はせる陸奧外交、小村外交、加藤外交さういふ時代の外交は現在の如き外交とは國民の感じが全く違つてゐる、對支中央機關の外相兼任、池田藏相兼商相これも素晴しい、池田藏相に白紙委任狀を渡した國民の總意を近衞首相はちやんと見てとつたのだと思ふ、產業、金融、通商貿易で官僚に對するあらゆる不信懷疑はこれで一掃されることになつた、大藏、商工が一心同體となつたのは機構改造の前ぶれだ、池田がこの大役を引受けたのは近衞首相の知己に感じ一身を國家に捧げる決意を知つたのであらう、何れにせよこの改造の意義は新入閣諸士の顏觸れが最も雄辯に物語つてゐる

獨逸官邊大歡迎

【ベルリン廿六日發國通】ドイツ官邊では近衞內閣の改造をもつて戰時內閣の出現となし、近衞內閣は今後國內革新を通じ人的、物的の總動員を斷行するとゝもに蔣介石政權の打倒に邁進、いよいよ戰局の進展を促進するものと見てゐる、殊に外交方面では宇垣外相の登場を頗る重視し日獨防共樞軸は今後いよいよ强化するものとして歡迎してゐる

外相、首相と要談

【東京國通】宇垣外相は廿七日首相官邸における午餐に出席した後居殘つて首相と會見最近の國際情勢を中心に要談した

首相、三前閣僚を訪問

【東京國通】近衞首相は二十七日午前八時三十五分澁谷の私邸に吉野前商相、ついで原宿の私邸に廣田前外相、麴町の私邸に賀屋前藏相を訪問在職中の勞苦に對し謝意を表し同十一時首相官邸に入つた

荒木文相初登廳

【東京國通】荒木新文相は二十七日午前九時半文部省に初登廳し、目下本省において開かれてゐる直轄學校長會議に出席中の高等學校長、實業專門學校長に對し新任の挨拶をなし閣議出席のため直ちに首相官邸に赴いた、なほ新舊文相の事務引繼ぎは午後一時半から本省大臣室において行はれた

ブ元帥赤府訪問

【モスクワ廿六日發國通】極東特別軍管區司令官ブリュッヘル元帥は數日前モスクワに到着しメトロポール・ホテルに逗留してモスクワ政府當局と協議中なることが判明したが、同元帥のモスクワ訪問はミロノフ氏の極東部長新任により極東政策の轉換を傳へられてゐる折柄各方面の注目を集めてゐる

メキシコ叛亂

【メキシコ廿六日發國通】セデイリョ將軍麾下のメキシコ叛亂軍は今なほ鎭壓に至らず政府、叛亂兩軍は專らその飛行部隊を動員して盛んに空爆を行つてゐるが、メキシコ政府は廿六日戰鬪狀況につき左の如く發表した
叛亂軍飛行機は廿六日政府軍の駐屯地を爆擊したので、わが軍機は直ちにサン・ルイスポトシシウエルシオ附近の叛亂軍飛行場を爆擊粉碎した
なほ叛亂軍の一部飛行機は米國人が操縱してゐるといはれる

全合衆國艦隊
大西洋上で大演習

【ワシントン廿六日發國通】米國海軍省は明年一月全合衆國艦隊を太平洋から大西洋に移動せしめ約六ヶ月間にわたり大西洋上において大演習を擧行する旨二十六日發表した
よつて全合衆國艦隊二百餘隻は明年一月上旬太平洋岸の諸根據地を出航、パナマ運河を通過して一旦大西洋岸に集結したのち二月に入るや所謂作戰第二十號に基きパナマ運河攻防演習を中心に西印度諸島から赤道に及ぶ大西洋を舞臺に大演習を展開する筈である、演習終了後五月全艦隊はニューヨークの世界大博覽會を訪問する豫定であるが、全艦隊が太平洋を離れ大西洋岸に移動するのは一九三四年來五年振りのことである

【ワシントン廿六日發國通】米國海軍當局で二十六日「今回の合衆國艦隊大西洋移動はパナマ運河の防備その他作戰上の必要と大西洋岸官民との交驩を目的とするものである」と言明した、尤も一部ではリー作戰部長が過般の下院海軍委員會において「米國は海上防備に關し防共協定による同盟關係を考慮しなければならぬ」と言明した點を指摘して今回の移動が最近の歐洲情勢を考慮に入れたものであると觀る者もあるが、何れにしても極東の形勢重大の折柄假令一時的にもせよ全合衆國艦隊を大西洋へ移動することは太平洋中心主義からみて相當の英斷として注目されてゐる

日滿實業協會總會

【京城國通】日滿支經濟提携の進展に多大の成果を期待される日滿實業協會第五回總會は、二十七日午前九時より京城府民館に於て開催、內鮮滿より會員約四百八十名臨席、來賓として內地より八角拓務次官原對滿事務局次長、滿洲國側より呂產業部大臣、大津關東局總長、地元朝鮮より南總督大野政務總監等出席、先づ中野副會長の開會の挨拶、賀田朝鮮支部長の挨拶あつて、南總督から朝鮮の現狀を述べ、日滿支の各方面における提携を强調して祝辭に代へ、拓相(八角氏代讀)小磯軍司令官外各來賓の祝辭、祝電披露あつて議案の審議に入り(一)諸報告事項(二)日本海經由內鮮滿の連絡發展促進に關する件(三)朝鮮における國防產業、特に重工業振興に關する件(四)日滿支間の資金、物資流通圓滑化に關する件を何れも異議なく可決、評議員の改選を行ひ、富田滿洲興銀總裁の滿洲國金融に關する講話を聽取して正午休憩、午後二時再會、講演に移り、井原朝鮮軍參謀、穗積總督府殖產局長、鈴木京城大學教授の經濟講演あり、午後四時半散會、明月館における朝鮮商議主催の晚餐會に臨んだ

【京城國通】日滿實業協會は廿七日の總會において內外時局の重大化に對處する銃後經濟人の非常決意を左の如く闡明すると共に支那全戰線に活躍中の皇軍の勞苦に對し北支中支兩最高指揮官宛て慰問の電報を發した
今や支那事變は內外共に長期戰に移り時局は方に益々多事の際、わが忠勇義烈の皇軍將士は能く艱苦に堪へ猛奮戰以てその戰績は實に全世界を驚歎せしむるものあり、茲に日滿實業協會第六回總會の開催に當り日滿兩國經濟人の一致協力國策に順應し、時艱を克服せんことを期す
右闡明す

閑話

徐州の大殲滅戰を一轉機として蔣政權はいよいよ長期戰に入るであらうことを察知した近衞內閣は▼後の逆手をとつて疾風迅雷的に內閣改造を斷行した▼更生近衞內閣の今後の施政方針は對支中央機關問題の解決を第一着手として▼戰時財政經濟の强化、國民總動員計畫の再組織、文敎刷新、戰時行政機構改革等▼あらゆる部門に亘つて抱藏する革新政策を斷行することは推測に難くない▼就中宇垣大將を外相に据ゑたことは今までの傳統的霞ケ關外交陣の型破りであるだけに最も期待がかけられる▼長期戰により最後の勝利を得るとの建前のもとに國民にこれを反復宣傳すると共に▼對外的には支那の抗戰力の强靱性を誇大しつゝあつた蔣政權も▼五閣僚を軍人を以つてあてた今回の改造には少からず大狼狽せる態がありありと見へる▼お膳立てはこれでよしあとは經驗と識見に物を言はすまでだ

徐州大戰捷で我等は如何なる感銘を受けたか（上）

第三國の對日方針一變

今次の徐州附近の大會戰は軍事的には勿論のこと政治的に將又列國との外交工作上一段階を劃すべき頗る重要な意義を有するものである、列强の軍事專門家をして日本軍の眞價を公平に評價せしむる最大の資料を提供し、これによる第三國の對日對支方針に大いなる變化を招來するだらうことは推斷するに難くない、「徐州の防衛こそは支那の興亡の基礎なり」と支那は珍らしく正直なことをいつてゐるのであり、これを我々日本人にいはしむれば「徐州會戰こそは蔣軍閥を再起不能の苦境に陷れる最後的大壞滅戰果を收めねばならないのであつて、これにより眞に日本と協力し得る明朗支那建設の基礎を確保するもの」である□

今や敵の大軍廿一ケ師はわが外線作戰の手中にはまり込んで最早頽勢を挽回する術もない狀況に陷つてゐる、こゝにわが外線作戰奏功のあとを辿つてみるとき、われ〳〵は今更の如く

一、指揮運用の卓越せること
二、軍隊訓練の徹底せること
三、軍人精神の旺盛なること
四、地形天候氣象時刻等の利用が常に適切であつたこと

等に深い感銘を抱くものである、これ等は兵數、編制、裝備と相俟つて戰捷を獲得する上の最大要素であつて、徐州會戰こそは皇軍の眞價を餘すところなく發揮し世界にその威容を示した絶好の機會であつたのである、第一の感銘は外線作戰の序幕におけるわが軍機動作戰の妙味である、徐州作戰は五月十四、五兩日三箇所に行はれた隴海線の爆破遮斷により戰況頓に熟し皇軍の神速果敢なる戰鬪行動の端緒が開かれたのであるが、この機をつくるに至れる最高作戰部門の指揮運用の妙と之を受けての部隊指揮者の判斷の適切さは恐らく軍事專門家をして三嘆せしめないでは置かぬであらう□

三月二十七日より津浦線を南下したわが兵團は韓莊、臺兒莊（共に徐州東北方約十餘里）附近に於て先づその火蓋を切つた、敵大軍は永久的な要塞陣地を持して必死の防禦に努めた、然し乍らわが軍が堅固を極めた敵の防禦線を眞正面から攻擊する事の不利な事は我々素人にも容易に判斷出來る事である、定石通り日本軍は作戰上一時戰鬪行動を中止して待機した、しかしてこの間當面の敵軍並に敵軍指揮部門に對しては日本軍は遮二無二津浦線正面攻擊の攻勢をなすが如き姿勢をみせかけ敵軍指揮者をして我企圖の奈邊に在るやをすつかり錯誤させてしまつたのである□

三月下旬漢口より放送された敵の宣傳は日本軍の作戰圖に當つた事を最もよく裏書きしてゐる、即ち漢口放送に

日本軍は韓莊、臺兒莊の激戰に於て、主力の大半を損傷し今や我反擊を支ふるの術なく、よつて日本軍は京漢線方面の大部分を擧げて津浦線方面に移動しつゝあり

と云つて例の如く誇大放送をなしつゝすつかり悦に入つたものである、四月十八日頃よりわが津浦線方面部隊は待機の姿勢より再び行動を開始し韓莊、臺兒莊の東北方沂州、郯城を陷れ徐州東方より主力指向する如くみせかけるや、支那軍は徐州西方地區の各部隊までも急遽徐州東方地區へ移動せしめこゝに敵の主力は擧げて同方面へ集中したのであつた、これをみてとつたわが軍は時こそ至れりとばかりかねてより隴海線を隔てること何れも百數十キロの地點に待機中であつた有力なる南下部隊及び北進部隊は突如として各基點を進發しまことに神速果敢、疾風迅雷の勢をもつて敵の意表に出で、徐州と其西方歸德との中間地區においては隴海線を遮斷する放膽極まる作戰に出で瞬く間に敵の退路を押へてしまつたのである□

すなはち北進部隊は五月四日淮河を、南下部隊は五月十二日黃河の渡河を果し懸河の勢をもつて踏進又踏進、隴海線に沿つて東進し包圍線の縮小を圖つたのであつた、徐州方面の敵防禦陣地中の弱點であるべき西方よりするわが軍の進擊こそは敵陣に一大混亂を與へそのなすところなき間に忽ち徐州の攻略を果したのである、更に包圍線を完成した最後の戰果は遠く徐州東方海州との中間地區新安鎭に於る隴海線遮斷である、斯くてわが包圍體形は玆に全く成り今や徐州東南方に於て徹底的包圍殲滅戰を展開せんとしてゐるわが軍の神速振りもさる事乍ら敵軍の鈍感無能さに至つては全く言語同斷である、こゝで注目すべきは敵がまんまとわが作戰にひつかゝり各地の主力陣地に據る大軍を徐州東北地區の一ケ所に集中してしまつた事である、如何に無策無能の敵軍とはいへ昨夏以來我軍作戰に幾多の苦澁を嘗めてゐる敵軍としてはわが軍が堅固を誇る敵正面の防禦陣地に眞向から攻めかゝるの愚を敢へてするとは考へなかつたであらう、それにも拘らず敵をして津浦線正面に主力を膠着せしめたものは一つにわが作戰の妙味にある事を認はずには居られないのである□

要するに敵軍はわが複雜なる作戰の片貌寸影を眺めてゐるうちに魔術的作用にひつかゝつたのである、魔術にかゝつては外線作戰に對する內線防禦作戰の定石である各個擊破の戰術も何もあつたものではない、それにしても堅固なる既設陣地の殼に立籠つて反擊の擧に出で得なかつた支那軍隊の無統制、無策、無氣力さに至つては兵數において六十萬の大軍を擁すると雖も最早抗日も何もあつたものではない

◇……徐州市內驀進の我が戰車隊

開封及其附近 地理的懷古（五二）

大宮權平

孟子見梁惠王の梁は、現在の開封にして、北周及隋代より汴州と號す、開封の稱は五代梁より始まり、汴梁の二字を併用せしは、元代よりといふ 此地春秋以來 行政軍事の凡有る方面の樞要處として、天下の耳目を集中せしめたる、中原の一大要地たり、但しからくは、土地低平、黃河の水患あり、城內大半は湖澤にして大都の資格乏し、然れども、現在隴海鐵路東西に通じ、百貨輻輳し、十數萬の人口を保有し、要地たるには相違なし、距今八百餘年、滿洲民族の金朝南征して淮水以北を占領したる頃は、汴京として此に遷都したり、當時の遺物、女眞文字の、宴台國書碑、今尙現存す

其他有名なる、相國寺、猶太寺、白塔寺、繁塔、鐵塔、禹王臺等々、就中宋の徽宗 欽宗の二帝、金軍に拉致せられ、北滿洲五國城に羈詰となり、終天の恨を演出したる、發端は此地なり、滿洲民族に因緣深し、開封の西南、十餘邦里に朱仙鎭あり、敗餘の孤軍、宋將岳飛が誠忠克く、金の大軍、兀朮を敗り、黃龍府（滿洲農安）を衝かんとの慨を示したる、史上溅血の地、朱仙の二字、普く印象せらる、隋の煬帝、運河八百里の、惠濟渠は、當時開封の南郊を東南流する、汴水を利用修築し、淮水に通ぜしとの、文獻は存すれども、現在は全く湮滅して其痕址なりと所々にて唯口碑に傳ふるのみ、唐の會昌五年六月、日本比叡山の慈覺大師一行、此運河を下り、淮陰に達せし、記錄は、其求法巡禮記に明記しあり、開封徐州中間に、鐵路に沿ひて、現稱商邱、通稱歸德の大商區あり、春秋宋の王都五代漢、梁の國都、其附近には尙古く上代の古蹟と傳へ土地父老の誇る處、頗る多し、其西南に唐の睢陽城址あり、現在睢縣の地なり、安祿山の亂張巡、許遠の死守、籠城し愛妾の人肉まで喰盡せしといふ、史上慘烈の遺蹟あり、歸德の南方老子の故里、苦縣厲鄕現在河南省鹿邑縣と、安徽省亳縣との中間にあり、太淸宮と稱する、一大宮觀あり、仙源と呼び、道敎徒の崇敬叩頭するもの絶えるなし、其西北に泓現稱柘城縣あり、春秋宋の襄公楚と戰ひ大敗したる、所謂宋襄の仁は、此處の出來事なり、此地方一帶は、古來黃河の氾濫、漫流、河道變遷、幾十回其止と傳ふる、沙洲或は凹窪地、各所に點在するを見る毎に、當時の水災罹難、住民の苦惱は、寔に惻惻に餘りありと感ぜらる

佳節に捧ぐ死鬪

鬼神も哭く漢口大空襲

＝梶原兵曹長の手記＝

【東京國通】天長の佳節に海の荒鷲五十機の大編隊は長驅漢口を空襲邀擊の敵機約八十機と世界戰史上未曾有の大空中戰を演じ敵戰鬪機五十機を擊墜したが右に關し廿五日海軍省から右空中戰鬪に於て最も凄烈な死鬪をなした作間隊の梶原兵曹長の貴重な手記が公表された

△梶原福松兵曹長手記

廿九日午後零時われ等は柵町少佐指揮のもとに勇躍基地を出發、○機の一群と合同一路漢口に向つた、誠に堂々たる

強襲

である、午後三時四十分遙か漢陽の中に武漢三鎭の市街が見えて來た、緊密な編隊で漢陽兵工廠直上に進路を向けると敵は各地の水も洩らさぬ空襲警報により豫てより待構へてゐたので一齊に猛烈なる高角砲の集中砲火を浴せて來た砲彈炸裂の爆煙は四周を覆ひ爲に爆擊照準不能に陷ることがしばしばであつた

午後三時四十五分爆擊を終つてほつと一息吐いてふと後方を見ると敵飛行機が火焰に包まれて墜落して行く、今や友軍○○機奮戰の最中なのだ、爆擊を終つて旋回避退したがわが小隊は旋回の外側にゐたゝめ他の小隊よりも若干後れた、敵戰鬪機の一隊は好機乘ずべしとなしわが小隊目がけて猛襲を加へて來た、われも全銃火を以て應戰忽ちその四機を擊墜、敵機は次々と焰を吐いて落ちて行つたこの前後より松野航空兵曹を機長とする三番機は遲れ氣味で特に敵機の猛擊を受けてゐたので作間小隊長はこれを待ち合すため少しく速力を緩めたが、松野機は敵約十機を對手に獅子奮迅の勢で戰つてゐるのが見えたので、速力を增してこれに向はんとすれどもわれもまた敵戰鬪機數機と渡り合つてゐるためそう簡單に運動が出來ない、遂に亂戰中に松野機を見失つてしまつた、最後に見たとき松野機の後方には敵戰鬪機が喰ひ附くやうに追援してゐた、この頃友隊の飛行機中武昌南方に黑煙を殘して凄い勢で突入する飛行機を見たさうであるが、これが恐らく松野機の最期であつたと思はれる

山口兵曹を機長とする二番機はぴつたり左後方に續航してゐたが旋回を終つて間もなく一大轟音を聞いて振り返ると山口機のタンクが紅蓮の焰を吐いてゐる

高角砲彈を受けたのである、萬事休す矣、山口機は最期の訣別のためか凄い火焰を噴きながら速力を增してわが一番機の左側近く寄り添つて來た窓越しに見ると機長の山口一等航空兵曹はニツコリと笑つて手を振つてゐる、操縱員の布田兵曹は操縱に專念してゐる、白石航空兵は布田兵曹の脊越しに手を振つてゐるこんな

切迫

した場面においても同機はなほ執拗に攻擊して來る敵戰鬪機に對し射擊を續けてゐる、何といふ悲壯な光景であらう、胸がこみあげて來てたゞ目で別れをつげるだけである、火達磨となつた二番機は一番機を行きすぎ少しく機首を上げたかと思ふと忽ち胴体の中央より二つに折れ武昌の東方に墜落して行つた

二、三番機を失ひ單機となつたわが一番機に對し敵戰鬪機は集中射擊を加へて來た、敵彈は霰のやうにガン〳〵機體に命中する、タンクからは瀧の如くガソリンが噴き出す、一彈は機長作間特務少尉の頭部をかすめて遮風板二枚を割つて行く、敵彈の命中が餘りにも激しいので射手の安否を氣遣ひ信瀨兵曹を見にやると元氣で射擊してゐるとの報告である、まづ安心したと思ふ間もなく後部に激しい命中彈の音を聞いたので再び信瀨兵曹を派遣すると、哀れにも今迄勇敢に敵機に猛射を浴せてゐた金原航空兵は機銃の上に打ち伏してゐる

信瀨兵曹は金原の肩を叩いて「傷は淺いしつかりせよ」と叫ぶと金原はむつくり起き上つて更に數發射擊をしたかと思ふと再び倒れて起き上らない、その壯烈なことは鬼神を泣かしむるものがある、信瀨兵曹は金原航空兵を引上げ自ら血に染つてゐる機銃について射擊を再興した、息を吐く暇もなく射手小松兵曹は二ケ所に重傷を負つて倒れ久保庭整備兵も續いて顏面に重傷を負つた自分は早速久保庭に代つて前方銃架に飛着き射擊しようとしたが敵彈は彈倉に命中使用に堪へなくなり止むを得ず後方に飛んで行つた

敵彈は更に雨霰と降り注ぎ銃架に彈丸を受けて旋回不能となつたが急修理を加へて兎に角射擊することが出來た、しかしこれも又間なく敵彈のため尾栓を破損し射擊不能に陷つた、敵戰鬪機はなほも執拗に猛襲を加へて來る

フト氣づくと傍らに拳銃があるのでこれを機銃と並行に構へて卅米に肉薄して來る敵機に對し忽ち全彈を射ちつくした、紺青色の敵機の兩翼には靑天白日旗のマークが鮮かに浮き上つて見える、これに完全な機銃あらば

一擊

の下に擊墜せんものをと切齒扼腕すれども早や致し方ない、死するならば持場の席で死なんものと思ひ前方に行きかけると若武者金原航空兵が安らかに眠る如く戰死してゐる、去るにしのびず如何にせんかと思案したが、施す術もなく僅かに死者の兩手を合掌せしめて席に歸つた

この頃敵戰鬪機は彈丸を射ち盡したのか攻擊をやめて全部引揚げた模樣である、席に歸つて見ると爆擊照準口から逆流して機體內に浸入するガソリンのため呼吸困難である、この儘では操縱者が倒れるかも知れぬと思ひ手袋をもつて穴をふさがうとしたがガソリンの飛沫は口や顏に入つて精神朦朧となる空氣をよくするため窓ガラスを破らうとするがなかなか破れない、後方を見ると頭部に負傷せる信瀨兵曹と顏面に重傷せる久保庭整備兵は血まみれとなつて集合しタンクを修理してゐる、小松兵曹は顏と足とに重傷を負ひ、足は血止めを施したが顏面の出血が甚しいので取敢ず消毒綿を丸めて傷口に挿入した、前方操縱席を見るとガソリンに息づまる中で默然と操縱に專念してゐた隊長作間特務少尉の姿が神々しいまでに感ぜられた、敵戰鬪機が避退したので安心したものゝ全ガソリンタンクを破壞せられ搭乘發動機員の死力を盡す應急處置もその甲斐なくガソリンは瀧の如く噴出するので、某地まで數百キロを歸られるや否や心配である、隊長は信瀨兵曹に『燃料はどうか』とさけび信瀨兵曹は「大丈夫です」と答へる、この問答が三度繰返された、返答次第によつては最後の決心をしなければならぬ隊長の氣持は悲壯である

重傷者小松兵曹は出血甚しく鼻口より血を吐き呼吸困難に見える、消毒綿をとつて鼻口を拭いてやると口のきけない彼は筆談で「○○前線基地に着陸して下さい」と賴むので隊長にはかると、隊長は「○○には醫者がないから基地に歸る方がよい」といはれた、基地まではなほ四十五分を要するがこれを告ぐるに忍びず「あと十五分ぢや元氣を出せ」と激勵した

快速

を誇る○○機も牛步の如く感じつゝ午後○時漸く基地に辿り着いたが、敵彈のため車輪が一個パンクしてゐるので着陸のとき顚覆することを慮り拳銃で他方の車輪をパンクせしめ無事着陸することが出來た

着陸すると顏面血にまみれた信瀨兵曹が來て「けふ歸れたのは全く奇蹟ですね」といつた、自分も同じ感じである

三番機はつひに歸つて來なかつた、歸つてから爾餘の各隊の輝かしい戰果を聞いてわが隊の拂つた犧牲の無駄でなかつたことを知り遙かに天を仰いで歸らぬ戰友の英魂にこのことを告げた、同時に無殘にも傷いた愛機を撫でて今更ながら感謝したのであつた

人造石油生產事業 內地七社に許可

【東京國通】商工省では廿五日午前十時工業俱樂部に第一回液體燃料委員會を開催、會長吉野商相はじめ委員二十五名出席、人造石油增產七ケ年計畫の一環として人造石油事業法第二條の規定により左記七社に對し低溫乾溜、水素添加、石油合成各事業を許可することに決定した、これにより人造石油生產許可會社は外地の

三菱石炭油化工業（樺太）、朝鮮石炭工業（朝鮮）、朝鮮窒素（朝鮮）、滿洲合成燃料（滿洲）、滿鐵（滿洲）滿洲油化（滿洲）

を合せ總計十三社となり燃料自給計畫は着々進行を見るわけである

一、低溫乾溜事業許可 宇部窒素工業、日本製鐵輪西製鐵所、東京瓦斯鶴見製造所
一、低溫乾溜、水素添加事業許可 日窒化學工業人造石油部若松工場、東邦ガス油化工場
一、水素添加事業許可 日本油化工業川崎工場
一、石油合成許可 三井鑛山石油合成工場

徐州攻略戰の鹵獲品

【濟南廿五日發國通】わが軍の徐州攻略における鹵獲品は左の如く脅威的數に上つてゐる

七ミリ級小銃彈九百廿三萬六千發、野砲彈千四百發、山砲彈四千五百發、十五サンチ榴彈二百發、着發手榴彈四萬三千發、曳火手榴彈百發、七十五ミリ戰車砲彈千五百發、廿三ミリ[illegible]關砲彈千發、七十五ミリ輕迫擊砲彈千發、八十三ミリ輕迫擊砲彈千七百發、十五サンチ級迫擊砲彈千二百發、十キロ級爆彈千發、觸發地雷五百五十發、爆彈千發

南下部隊鹵獲品

【北京廿五日發國通】去る十二日夜わが精銳部隊が黃河渡河以來隴海線を遮斷し蘭封城に至る迄に遭遇した敵は第十一、第二十二、第三十四、第三十五、第三十六、第四十六第五十二、第六十一、第七十八、第八十七、第八十四、第八十八、第百二十九、第百四十一、第百四十三、第百九十五の十六ケ師と騎兵十四旅で何れも戰車、重砲、迫擊砲を所有し中にも第四十六師は軍官學校學生隊の改編部隊で自動式銃を持つてゐたが何れも潰滅的大打擊を受け潰走した尙隴海戰に出てからの激戰では機關車三十餘輛、輕戰車二（この中英國ビツカース製一）砲彈二百發を鹵獲、その外英國製輕戰車約百を破壞した

支那從軍記者十一名行方不明

【上海廿六日發國通】外人筋の情報によれば、わが軍の徐州占領の直前最後迄徐州に踏止まつてゐた支那軍從軍記者廿九名は十六日夜わが軍の猛攻をくゞつて湯恩伯部隊とゝもに夜に乘じて辛じて徐州を脫出周家口方面へ落ちのびんとする途中わが空軍の爆擊に遭ひ部隊は支離滅裂文字通り四散し周家口に辿りついたものはわづかに十八名にすぎなかつたといはれるが、行方不明になつた記者團の中にはタス通信記者二名（ロシヤ人）シンガポール華僑新聞記者三名、支那人女通譯一名も混つてゐたと

敵は毒瓦斯使用

【北京廿五日發國通】黃河以南地區における敵軍潰滅戰に呼應山西省地區でも敗敵掃蕩戰が行はれてゐるが、五月十一日頃から禮元（侯馬鎭南方三里）附近の山中に蟠居せる第十、第九十六師は禮元のわが部隊に對し攻擊し來り毒瓦斯を使用したのみならず同十七日侯馬鎭の戰鬪でも敵は催淚性毒瓦斯彈を使用して今や手段を選ばぬといふ不逞な作戰に出てゐる

蘭封の敗敵に勸降ビラ

【北京廿六日發國通】蘭封城ならびに隴海線附近に堅陣を布いてゐた蔣介石直系軍はわが軍の猛擊に遭つて潰滅、敗殘兵は算を亂して後方に退却大部分は西北方に潰走しつゝあるので、わが○○本部では二十六日午前十一時これ等の敵兵に對し

既に隴海線は日本軍のために殆んど占領された、徐州も陷落した、速かに投降すべし

とのビラ數萬枚を飛行機上より撒布した

ハンガリー人も獨人と均等の地位要求

【ブダペスト廿五日發國通】チエコにおけるドイツ少數民族問題の歸趨は必然的に國內におけるその他の少數民族の地位にも重大影響を及ぼすものと見られるが、ハンガリーの有力紙ペスター・ロイド紙は果然二十五日の紙上においてハンガリー少數民族もズデーテン・ドイツ人と均等の地位を與へらるべき旨主張して左の如く論ずるに至つた

チエコスロヴアキアにおける一切の民族グループは均等の地位を與へらるべきでハンガリー少數民族と雖もこれが例外をなすものではない、チエコにおけるハンガリー人もドイツ人と同一の地位を保障されねばならぬ

ペスター・ロイド紙は政府支持の有力新聞であり、同紙の提起したこの問題は今後重大化するものと注目されてゐる

獨逸大豆輸出八萬五千瓲

駐滿ドイツ通商代表部發表＝四月中ドイツが滿洲國より輸入せる大豆は八五、五四四瓲價格八、四〇四、〇〇〇ライヒスマルクで一月以降四ケ月間の累計は二三三、七八二瓲價格二四、三二八、〇〇〇ライヒスマルクに達してゐる

北支蒙疆地區を行く

世界的に誇り得る 秘境熱河の價値

〔30〕

特派員　宇田淺次記

廣安寺

（戒台とも云ふ）

普陀宗乘之廟の西隣にあり乾隆三十七年建立の純西藏式建築で内櫻六十二楹中央に戒台があり毎年皇帝は參觀の蒙古諸部を會して法會を營んだ處である、今日は全く荒廢して礎石を存するのみである。

羅漢堂

戒台の西約二丁を距る處にあり平屋建の建物である、山門を入ると東西の配殿には文殊普賢兩菩薩の像があり其の奥が即ち五百羅漢を安置する羅漢堂である、釋迦佛、阿彌陀佛、地藏佛等を中心として廣大東堂内には南玄門の東側から始まつて西側に終るまで順序を逐うて五百羅漢の像が配列せられ立てるものは約七尺坐せるものも約五尺いづれも乾漆作りで千態萬容をして微笑爆笑させる乾隆三十九年建立された勅建寺であつて制式は海寧の安國寺を其のまゝ模したのと傳へられてゐる。久しく修理せざるために堂宇傾斜し雨漏り甚しく佛像を安置し得ざるに至り現在普佑寺内に移し祀つてゐる。

殊像寺

普陀宗乘之廟から西へ山麓に沿うて進むと鬱蒼たる松林の中に八方亭が聳えて見えるのが殊像寺である。乾隆三十九年夏工を起し翌四十年落成した勅建寺で山門を入れば天皇殿は既に東の半分は全く頽れて巨大な神像が骨骼のみとなつてをり兩側の配殿も赤壁を餘すのみである、天皇殿の後の石磴を登ると會乘殿があり三世保が祀つてある、指峰殿、面月殿と名づくる東西の配殿は是れまた完全に頽破してゐる、これを過ると支那式の石組の中に迂餘曲折した隧道があり十八地獄の模樣をかたどつたといふことであるが今は所々破損してゐる、洞穴の上に拔け出ると寶相閣と題する八方亭があり獅子に騎つた文殊菩薩の像が安置してあり台座の基部から三丈餘の高さある巨像である。抑々此の寺の名は五台山にある台麓寺に因み其の制式は北京西山の香山寺に倣つたものである。乾隆帝御製の殊像寺落成贍禮即事によれば五台山は文殊菩薩の道場で麓の寺を殊像寺と言文殊菩薩の示現の處と稱へられるが、乾隆二十六年皇太后七十の萬壽に帝は皇太后に侍して同寺に詣で文殊の像を暗記して歸り石刻みし其の後香山寺を建立してこれを安置した、更に香山寺の制式に仿ひ台麓寺の殿堂樓閣に模して此の寺を建て其名を殊像と命名したものである。清涼山、五台山と云ひ香山寺殊像寺とも云ふも天竺よりこれ見れば何れも等しく支那の地であつて文殊菩薩示現の境たることは同樣である、西藏達賴喇嘛よりの親書には帝を指して曼殊師利（文殊師利に同じ）大皇帝と稱してゐるので帝は此の寺をもつてその威勢を宇内に光被せん日を表徴せんとして特に此處には滿洲喇嘛六十名を置き尚滿洲朝の全盛期たる帝の御字には滿洲語の佛典なかるべからずとし之を譯成して藏せしめ寺僧には專ら滿洲文學を習はしめたと云ふことである。寶相閣の左右及び背後にも昔は雲來殿、雲淨殿、淸涼樓等を始め多數の殿堂樓閣があつたが今は何れも烏有に歸してゐる、昭和八年九月此寺から發見された滿文大藏經は學界を裨益する所頗る大であり國寶として保存されてゐる。

須彌福壽之廟

（札什倫布又は行宮とも云ふ）乾隆四十五年帝七十の萬壽を祝するため後藏の班禪喇嘛が自ら遙々熱河に來觀したので帝は之を嘉賞せらるゝ餘りかつて雍正帝が第五世達賴喇嘛の爲めに京師に黄寺を建立したる例に倣ひ普陀宗乘之廟と相並んで特に札什倫布廟を建立し其の居に充てさせたる唐古特語で札什は福壽倫布は須彌山の義である。

碑亭背後の石磴を登ると額に總持佛教と題した寶坊があり往時蒙古札薩克王公を除く外台貴庶民は之より奧へは參進する事が許されなかつたゝ賑門の傍にある石碑に記してある。其の奧に丹色の箱形で四面三段に窓形の四所を附した建物があり外部からはその内部の狀態を覗くこと出來ないが一度廊内に入ると豈圖らんや件の紅壁の内部は内面した三層の房屋よりなること宛かも三階の廻廊の如く一廊の中心にある本堂を圍繞し屋頂は平直にして煉瓦を砌き屋上庭園をなしてゐる。本堂は三層より成り正面の額は妙高莊嚴と題してあり釋迦佛を祀り三階の正面には三體の歡喜佛が祀つてある、本堂の屋には銅瓦に鍍金してあるので晴天には金色燦然として人目を眩せしめる、都綱殿の西にも赤鐵金銅瓦を以て葺きたる二層樓があり班禪の駐錫されたところと傳へられ又都綱殿の東部にも二層樓があり皇帝の御座所にあてられたものであるが、現在は大破して見る影もない狀態である。背後の丘上には六重の琉璃板を積んだ塔があれ最下層の内部には華麗な佛畫が描かれてゐたが今はその過半剝落し或は心なき者に毀損されて跡形もなくなつて了つてゐる。

×××

以上熱河外八廟に就いて大略を述べたがこれら各寺廟はいづれも世界に誇るべき乾隆文化の精華であるが久しきに亘つて放任されたゝめその破損甚しく滿洲國文敎部では最近伊東博士を聘して詳細に調査の結果數年間の繼續事業として一大修理を加へることになつてゐる、今や通古承古兩線の開通連絡により北支方面からこの秘境を探り得ることも極めて容易になり外國人の宿泊に便するため鐵道總局では承德驛に山奧とは思へぬ瀟洒な鐵道ホテルを經營してゐる秘境を印象づける土產物の如き今のところ何ら見るべきものはないがこれらも大いに意を用ふべきで在滿人は擧つて秘境の紹介宣傳につとめることもまた國民としての大きな務めでもあらう

都市對抗ラグビー 試合組合せ決定

第一回覇權を續る白熱戰

大滿洲帝國體育聯盟、大滿洲帝國蹴式足球協會、滿洲ラグビー蹴球協會主催第一回全滿都市對抗ラグビー大會はファン待望裡に愈よ明二十八日午後一時より中銀運動場に於て擧行されるが、これに先だち體育聯盟では各チームの委任をうけ抽籤の結果組合せを左の通り決定した

第一次試合（一時半）
大連——新京
第二次試合（三時）
奉天——哈爾濱

なほハルビンチームのメンバーは左の如くである

監督｜尾上正男、マネジヤー｜結城守、選手EW｜三上庭瀨、畝上、法山、佐藤、H權、富田、池田、堀内、HB｜平田、小阪、太田、佐藤、毛利、TB｜布村、森岩佐、關谷、アンドレ・セーウイチ、EB舛永

なほ大連、奉天兩チームは廿八日午前八時來京大連は都ホテルに奉天は旭ホテルに投宿する、哈爾濱は同日午前七時十分着京の豫定

大會豫想（下）

奉天

奉天は大連と共に滿洲ラグビー界發生の地として古い歷史を持つて居るが數年來對外的には振はず昨シーズン頃より大連滿鐵の中心プレーヤー數名を迎へてとみに充實され名センターをうたはれた柯を中心にチームを編成されて居るが新京チームを苦しめる唯一の好チームと目されて居る、スクラムはセンターに尚志社出身の松村君を起用してその早いフツキングを極度に利用して球をバツクスに廻し相手スクラムに卷き込まれることを避ける作戰に出るであらうフオワーヅの中心は勝俣、松村藤村石川等の輕快なプレーヤーをもつて形成されるから忠實なハーフ東山田と共に極力球をセンタースリーに廻し出來るだけゲームをオープンに廻す事に專念するものと見られる、スリーコーターはセンターに緻密なテクニツクを使ふ大體完全な體力とチエンジオブペースを使ふ柯を擁へその名コンビネーシヨンにより相手バツクスをひき付け元氣一杯の吉野田等をウイングに配し得點をねらふものと見られて居るがセンターに比較してウイングにいさゝか淋しさを感ずる

兎も角奉天は中心がセンタースリーにある以上如何にしてセンターに球をオープンに廻すかゞ勝敗の岐れ道になるのであるから此の點が成功すれば相當相手ゴールを破ることも豫想されるがそれだけ相手チームも極力防禦をハーフに向けその作戰に引き込まれない樣に出て行く心配がある兎もあれ奉天軍は新京軍と共に充分に期待される好チームである

大連

大連は二、三年前迄は相當多數の名選手を持ち之に配するに地元の若手選手を加へて確固たる地位を占めて居たが滿鐵の北支進出等に依り數名の名選手を失ひ發表せられたメンバーを見れば殆んど新進選手に依り固められて居るが傳統に生きる同チームは早大賓金時代の滿を主將に置き着々とチーム整備に努力して居るから他チームと殆んど對等の實力を持つて居るのではないかと考へられ奉天軍と共に新京に次ぐ强チームと目されて居るが唯往年のスクラムリーダー那須の名が見へないのはいさゝか淋しい

由來大連チームはセブンシステムを採用し試合運行の合理化を計り永い經驗に依りよく其の特徴を理解して居ることは敬服に値する、オワーヅは濃藪野等を中心として編成されて居り早いモーシヨンを持つ谷口をハーフに置き隨時に相手の虛を衝く作戰に出るであらうからスリーコーターに目立つたプレーヤーを持たない同チームが如何なる作戰に相手を苦しめるか興味を持たれて居る

フールバツク木島は定評あり一軍の後陣を引きうけるに充分な貫祿を持つものと思はれる

哈爾濱

同チームは滿洲に於いては最も新しく始められたのであるがチームの主體をなす哈爾濱學院は昨シーズン他の先輩諸校を追ひ拔いて高專大會豫選に見事優勝し一躍滿洲代表となり花園の初舞台をふみ其の猛烈なる鬪志を生かして技術的進步を示して居るが中心となつて居る岩田君等の卒業はいさゝか痛手であるが同學院を主體として之に數名老巧なる選手を加へて編成されるであらうから相手のチームもその元氣におされて意外の苦戰をすることも豫想される

フオワーヅは松浦を中心として正攻法に依り早く球をバツクスに廻す作戰をとるものと思はれフオワーヅに老巧なる選手を持たない同チームもおしには强いがスクラムやラインアウトに意外な破綻を生ずる心配があるがバツクスに比較的經驗のある田村、關谷、折永、坂田等がひかへて居るからその優秀なる鬪志を持つて防禦に專心し元氣一杯にチームを進めれば先輩チーム新京、大連、奉天も意外な苦戰は免れまいと豫想される

滿鐵社員會 評議員會開催

滿鐵社員會第十八回評議員會は二十八日二十九日兩日大連協和會館にて開催することに決定した、議案は左の如くである

第一前年度役員に對し謝意を表する件（幹事會）第二第十九回評議員會開催に關する件（幹事會）第三昭和十三年度會計監督選出に關する件（幹事會）第四昭和十二年度決算に關する件（幹事會）第五昭和十三年度豫算に關する件（幹事會）第六殉職社員弔慰金贈呈に關する件（幹事會）第七分會表整理に關し事後承認の件（幹事會）第八北支聯合會結成に關し事後承認の件（幹事會）第九公傷者見舞金贈呈に關し事後承認の件（幹事會）第一〇弔慰金贈呈内規に關し事後承認の件（幹事會）第一一昭和一二年度秋期評議員會中止に關し事後承認の件（幹事會）第一二北京天津に簡易宿泊所設置に關し事後承認の件（幹事會）第一三元幹事長石原重高氏胸像作製に關し事後承認の件（幹事會）第一四規約改正に關する件（幹事會）第一五聯合分會組織案變更の件（ハルビン聯合會）第一六物價騰貴に伴ひ獨身社員に對する待遇改善を會社に要望の件（營口聯合會）第一七獨身社員の待遇改善の爲獨身寮の充實方を會社に要望の件（牡丹江聯合會）第一八獨身寮體育施設擴充方要望の件（鐵嶺聯合會）第一九中央と地方との活潑なる人事の交流方を會社に要望の件（牡丹江聯合會）第二〇非現業員制服を禮服に制定せられたき件（錦州聯合會）第二一僻陬地に於ける醫療並に慰藉機關の充實促進方を會社に要望の件（牡丹江聯合會）第二二奧地社施設促進要望の件（ハルビン聯合會）第二三鐵道局所在地に社員宿泊所を設置せられたき件（チチハル聯合會）第二四支那事變の第一線に活躍する社員慰問の件（撫順聯合會）第二五二十五年勤續者表彰改善方要望の件（ハルビン聯合會）第二六國策遂行の徹底を期するため社員の零細なる貯蓄獎勵の件（撫順聯合會）第二七白米廢止運動提唱の件（本溪湖聯合會）

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

お抱へ運轉手へ

新京崇智路電々養成所附近に運轉手の部落が有る、數台どこかの專用自動車らしく朝夕のみは姿を見せぬが一日が一日中小路に捨てられて有るガソリン經濟の叫ばれてゐる折運轉手の子供たちを乘せて遊山に出かけたり子供の學校の送り迎へを行つてゐる運轉手のための官廳自動車の濫用を見せつけられてゐる中には關、經、8の番號もある軍部のもの迄の個人濫用には苦々しい感さへもつて來るおかゝへ運轉手はガソリン經濟を知らないらしい、上司はよく見てゐるのか一寸不思議だ2204の番號も有る調べれば分るでせうが注意すべきでせう（近所の人）

競馬

休場明けの待望競馬 番狂はせ穴續出

金大川（前田騎手）二百九十圓最高配當

新京春季競馬第二次第三日は休場明けの待望競馬に人氣を呼んで、海軍記念日にふさはしき好レースを演じた、折柄觀戰の白衣の勇士から嵐の如き拍手を浴られ、レースからレースへ續く番狂はせ競馬に興味を煽つて大房身の馬場は時ならぬ盛況を呈したのである

×××

當日は勝頭より第一レースに於て本命八二駒落ち、午長十七圓七十錢の好配當を出し、第二レースにまたもや撫順筑波八十圓五十錢と高配を出し第三レースに於て鯉瀧またもや本命落ちに十五圓八十錢と配當を續く、第五レースに愛國十四圓四十錢、複配續々と好配に穴ファンを喜ばせ最後の第十三レースに於て金大川（前田騎手）二百九十一圓五十錢、複配三十七圓の最高配當を出して第三日目の華々しきレースの幕を閉ぢたのである

×××

尚當日は第三レース古外馬障碍に於て金進（池田）三分六秒の記錄を出し從來の記錄を破ること二十秒にしてその力量を發揮したものと云へ得る

當日に於ける成績は左の如し

第三日成績

▲天氣晴　馬場良好
▲入場者　二三七二名
▲搖彩票　一三、七七〇圓
▲馬券賣上　八八、二五〇圓

△第一競馬（二、二〇〇米、四頭）1午長（三分二六秒二）2三勇3八二駒、配當｜單一七圓七〇、搖彩票1四二圓六〇等外三四圓五〇

△第二競馬（二、二〇〇米、六頭）1撫順筑波（三分二秒三）2紅燕3丹友、配當｜單八〇圓五〇、複1一八圓三〇、2八圓二〇、搖彩票1八七圓2二一圓七〇、等外六圓八〇

△第三競馬（二、二〇〇米五頭）1金進（三分六秒一）2橫濱3鯉瀧、配當｜單一五圓八〇、複1八圓2一二圓九〇、搖彩票1一五八圓七〇2三九圓六〇、等外二六圓五〇

▲第四競馬（二、二〇〇米、五頭）1愛川（三分一五秒二）2第四開進3榮華配當｜單七圓六〇、複1六圓三〇2六圓七〇、搖彩票1一七九圓二〇2四四圓八〇、等外一八圓六〇

△第五競馬（二、二〇〇米、五頭）1愛國（三分一〇秒）2谷、3奉天木曾、配當｜單一四圓七〇、複1八圓五〇、2一〇圓二〇、搖彩票1一九九圓六〇、2四九圓九〇、等外二〇圓八〇

△第六競馬（一、八〇〇米、七頭）1鄭鯤（二分二九秒三）2新白龍、3新濱千鳥、配當｜單七圓六〇、複1六圓九〇、2二〇圓七〇、搖彩票1二五六圓、2六四圓、等外一六圓

△第七競馬（二、〇〇〇米、九頭）1武勇（二分四七秒四）2蓮王、3公武、配當｜單九圓六〇、複1六圓三〇、2九圓九〇、3一二圓五〇、搖彩票1六七二圓、2一九二圓、3九六圓、等外四〇圓

▲第八競馬（一、八〇〇米、一一頭）1英洋（二分三四秒三）2泰公、3陶山、配當｜單一五圓、複1八圓六〇、2二四圓八〇、3一五圓八〇、搖彩票1七五二圓六〇、2二一五圓、3一〇七圓五〇、等外三三圓六〇

△第九競馬（一、八〇〇米、六頭）1勝駒（二分二六秒一）2英飛、3趙鵬濤、配當｜單七圓一〇、複1五圓六〇、2七圓二〇、搖彩票1三五八圓四〇、2八九圓六〇、等外二三八圓

△第十競馬（二、〇〇〇米、六頭）1華洋（二分三四秒）2富洋、3出輪、配當｜單九圓八〇、複1六圓三〇、2九圓二〇、搖彩票1三五八圓四〇、2八九圓六〇、等外二八圓

△第十一競馬（一、八〇〇米、一五頭）1英彥（二分二六秒四）2幸成、3甲子、配當｜單一七圓五〇、複1七圓五〇、2七圓九〇、3二〇圓二〇、搖彩票1七六一圓六〇、2二一七圓六〇、3一〇八圓八〇、等外二二圓一〇

△第十二競馬（一、八〇〇米、一四頭）1廿王（二分二五秒三）2朝日櫻、3日昇旗、配當｜單六圓一〇、搖彩票1二四五圓三〇、等外二〇圓四〇

△十三競馬（二、二〇〇米、一〇頭）1金大川（三分一八秒）2養玉、3大江戶、配當｜單二九一圓五〇、複1三七圓、2八圓六〇、3一二圓一〇、搖彩票1五八二圓四〇、2一六六圓四〇、3八三圓二〇、等外二九圓七〇

出馬及び勝馬豫想表

▲第一春抽 二、〇〇〇米
一着 一 八二駒 五八 甲斐(啓)
穴 二 三勇 五八 內村
三 玉影 五五 谷尾
四 猛來 五八 脇山

▲第二抽古 二、二〇〇米
穴 一 公武 六九 谷尾
二 早姬 六六 吉滿
一着 三 華王 六三 脇山
二着 四 紅燕 六六 久保
五 第二淡桂 五九 松尾

▲第三抽古障碍 二、二〇〇米
一 三初 六三 前田
二 赤標 六三 田部井
三 奉大豐姬 六三 松本
四 若駒 六七 內村
三着 五 第二飛龍 六五 甲斐(均)
六 鹿勝 六四 久保田
一着 七 寶王 六七 松尾
八 一走 六五 吉滿
穴 九 一三 六五 新原
十 快々 六三 清水
二着 十一 大江戶 六四 池田

▲第四春抽方變 二、〇〇〇米
一 新隆 五六 甲斐(啓)
穴 二 榮華 五八 新原
三 第四開進 五八 吉滿
一着 四 金誰 五八 久保

▲第五抽古方變 二、〇〇〇米
一 趙鵬程 五九 甲斐(啓)
二 明月 六二 田部井
三 拉麗德 六一 池田
二着 四 高風 六一 田中
五 英新 六一 吉滿
穴 六 新響 六三 松尾
一着 七 [illegible] 六五 久保
八 第二富士 六三 脇山

▲第六春抽 一、八〇〇米
一 羅勇 五三 池田
二着 二 尾洲 五三 內田
三 無仁 五七 前田
四 駒光 五三 谷尾
穴 五 新日龍 五六 甲斐(啓)
一着 六 新德龍 五四 新原

▲第七抽古 二、〇〇〇米
一 妙妙 六二 梶原
一着 二 鳥渡 五九 甲斐(均)
穴 三 公流 六二 落合

▲第八抽古 一、八〇〇米
一 英飛 六二 久保
穴 二 新軍 五八 內村
三 里仙 五九 梶原
一着 四 朝日櫻 六六 久保田

▲第九新古外馬 二、〇〇〇米
一 東鄉 五八 新京
二 普飛雲 六四 甲斐(均)
二着 三 新京若鷹 五四 久保
四 海星 五五 上原口
三着 五 富洋 五七 梶原
一着 六 哈克登 五七 吉滿
穴 七 出輪 六四 田部井
八 鈴鹿 五三 谷尾

▲第十春抽 一、八〇〇米
一 武州 五五 松尾
二 鹿毅勇 五三 甲斐(啓)
三 來擊 五三 高尾
四 第二菊勇 五五 田部井
三着 五 雙發 五七 梶原
六 新京神風 五六 上原口
穴 七 鳳龍 五六 前田
八 拔群 五五 久保
九 勝流 五五 谷尾
二着 十 泰公 五三 新原
一着 十一 又幸 五七 內村

▲第十一抽古 一、八〇〇米
一 第二矢風 五七 清水
二 玄洋 六一 上原口
二着 三 待月 五七 梶原
一着 四 精養軒 六二 久保
穴 五 玉吹雪 六〇 松尾
六 東功 五八 高尾

▲第十二抽古 一、八〇〇米
一着 一 滿洲鶴 六五 久保田
二 新常陸 五五 甲斐(均)
二着 三 幸成 六四 高尾
四 新旭 六二 新原
五 濱千鳥 六七 久保
六 松加世 六四 田代
七 甲子 六九 田中
三着 八 公富 六七 落合
九 菊香 五三 內村
十 福孝 五三 梶原
十一 泉山 五五 池田
穴 十二 北龍 六九 吉滿
十三 公星 六一 谷尾
十四 國都 五九 前田
十五 平岩錦 六四 田部井
十六 新[illegible]龍 四三 甲斐(啓)

▲第十三新古外方變 二、二〇〇米
一 金標 五四 甲斐(啓)
二 新長 六四 松本
穴 三 金大勇 六二 吉滿
一着 四 雲祥 五八 久保田

關東軍司令部 雇傭員を募集

關東軍司令部では今回雇傭員若干名を募集するが應募要領は左の通りである

△種別｜雇員及び傭員
△資格｜高等小學卒業以上の學力を有する滿四十歲以上の內地人
△手續｜自筆履歷書、身元證明書、健康診斷書、寫眞各一通を五月三十日迄に居住地憲兵隊へ提出のこと
△面會日、場所｜新京居住者は六月三日午前九時迄に新京職業紹介所内職業補導部へ奉天居住者は六月四日午前九時迄に奉天岩松部隊内補導部へ大連居住者は六月五日午前九時迄に關東軍兵事部大連支部へ
なほ給與は面談の上決定し、出願費は給與せず

野人の叫び社 品川義介氏 修養講演

野人の叫び社品川義介氏は滿鐵々道總局福祉課の招聘にて左の日程により全滿各地で修養講演をなすことになつた

同氏は山口縣の出身で京都同志社大學に學びのち日本社會事業の軍鎖留岡幸助氏の經營せる北海道北見國サナブチ家庭學校教育主任として不良少年少女の感化教育にあたること十年その後札幌市外琴似村に白雲莊と稱する私塾を開き青少年の父となり友となつて教育に獻身的努力をつづけつゝある社會事業家である

日程は左の如くである

▲吉林五月廿六日▲圖們二十七日▲牡丹江二十八日▲ハルビン二十九日三十日▲北安三十一日▲黑河六月一日▲チチハル三日▲白城子五日▲新京着六日午後十時七、八日滯在▲九日四平街、▲鐵嶺十日▲錦縣十一日▲山海關十三日▲奉天十四日▲蘇家屯十五日▲遼陽十六日▲鞍山十七日▲大石橋十九日▲瓦房店二十日▲大連二十一日▲旅順二十三日▲大連二十四日▲撫順二十五日▲本溪湖二十六日▲橋頭二十七日▲鷄冠山二十八日▲安東二十九日

荒木巍氏を招聘

鐵道總局旅客課、滿洲觀光聯盟では從來滿支の大陸紹介創作が多くの場合戰を中心とするか或は大陸生活と遊離して書かれて居り、眞に伸び行く滿洲の實情がテーマとして書かれたものは僅少であるといふ點に着目、老大家よりも新進作家を招いてその極めてリアルな角度から眺めた新興滿洲を廣く日本に紹介し併せて觀光客の便に資せんといふ目的で今回「世間の話」「渦の額」等で最近文壇に進出した純文學作家荒木巍氏を招聘することゝなつた同氏は七月上旬來滿、暑中休暇を利用して約一ケ月間に亘り北滿の移民地、承德の觀光地を中心に滿洲隨の旅行をなす筈である

なほ同氏は帝大文學部支那文學科出身で現在は明大附屬中學に教鞭をとるかたわら創作に精進中で今後文壇方面の活躍を期待されてゐる人である

明暗

結婚

◇南嶺陸軍官舍山口壯一（三七）平林多喜子（二一）
◇承德伊藤鐵郎（三〇）興安大路五一〇鈴木ツヤ（二三）
以上廿五日

商況欄（二十七日後場）

●奉天株式（短期）寄付 大引

滿取 一〇八、〇〇 一〇八、〇〇

[illegible]

●大連株式（短期）寄付 大引

[illegible]

新京取引市況

先物 寄付 出來高

●大豆 五月限 六月限
●高粱 五月限 六月限

[illegible]

現物 大豆 高粱 小豆 米 玉蜀黍

[illegible]

手形交換高（二十七日）

[illegible]

凉呼ぶ季節の味覺 現れた初夏の果物
バナナは今が一番甘い時 榮養上からそれぞれ解剖

初夏の果物を榮養上から解剖してみる

バナナ の一番うまいのが今から六月一ぱいだ、それは台灣南部地方産のものが入つて來るからで品が豐富だから値段も安い、スツカリ黃色くなつて茶色の斑々があらはれること は澱粉は全部糖化し不消化のおそれもない、子供にバナナが惡いといはれるのは與へる方が誤るからで四、五歲までの子供は食後でも、おやつでも一回一本が適量で過熟して皮が黑くなり內がズルズルになつてゐるのは子供には禁物、成分は次の通りでヴイタミンが多い

水分	七五、五〇%
蛋白質	一、二九%
脂肪	〇、三六%
含水炭素	二〇、〇一%
纖維	一、一七%
灰分	〇、八九%
百グラムの發生する總溫量(カロリー)	九一
ヴイタミンA	十十
ヴイタミンB	十
ヴイタミンC	十十

夏蜜柑 は不作で値がやゝ高い 果皮のゴツゴツしたのは酸味が少く、重いのは果汁がタツプリある。

水分	九〇、五〇%
蛋白質	一、〇〇%
脂肪	〇、三〇%
含水炭素	〇、八〇%
纖維	〇、三〇%
灰分	〇、八八%
百グラムの發生する總溫量(カロリー)	三四
ヴイタミンA	十
ヴイタミンB	十十
ヴイタミンC	十十

ヴイタミンBCを多量に含んでゐるので一日三個づつ食べれば脚氣が治るとまでいはれてゐる、二つに輪切りにし袋の內皮に沿つてナイフを入れて果肉を離し蕊を除き砂糖を入れ半日か一晩おくと酸味が減る、これにブランデーでも少量かけると來客にも出せる

苺 ミルクのかゝつた苺こそは初夏の色だが寄生蟲卵や傳染病菌除けに少し辛めの食鹽水でよく洗つてから食べる、かける砂糖は榮養上少い方がよい、成分は

水分	八九、〇五%
蛋白質	〇、八一%
脂肪	〇、四三%
含水炭素	四、八二%
纖維	一、九〇%
灰分	〇、六九%
百グラムの發生する總溫量(カロリー)	三六

メロン の甘いのは初夏で眞夏は値は安くなるが味は劣る、甘味を喜ぶ人にはアールスフエボリツト種(綠肉)香氣がお好きならスカレツト種(黃肉)がよい、ハネデユー種は滑かな白い外皮がありネットはなくアールスフエボリツトには太いネットがはつきりあらはれスカレットはネットが細いから誰にでも見分けられる、榮養價は

水分	九〇、九四%
蛋白質	〇、九二%
脂肪	〇、二三%
含水炭素	六、四四%
纖維	〇、八八%
灰分	〇、六〇%
百グラムの發生する總溫量(カロリー)	三二

枇杷 五月も末になれば茂木枇杷が出るし、六月半を過ぎると一粒卅匁もあるやうな大粒の田中枇杷が出る、成熟したものの成分は轉化糖六%、蔗糖四、九九四%、林檎酸〇、六%あり、ヴイタミンA、Cも多くBも少しはある、皮にもヴイタミンAがあるともいはれてゐるが食べない方が安全だ。

單衣姿の美は 仕立に秘訣

しやんと鏡の前に立つてはわからないが、階段の昇り降りや、物を拾はうとしやがんだりするとき、袷せと違つて單衣物では、下著の缺點が非常に眼につき易い

單衣物には殊に身体に段々をつけるやうな下著は禁物で、例へば肌襦袢が丁度お尻の中途で終つてゐたり、長襦袢の身巾がピッタリ合つてゐなかつたりすると身體の動きにつれて、正直にそれが感じられる

▼…これを避けるには、肌襦袢の丈を帶の下で終るやうに短くすることは勿論・なるべく凹凸を少くするために、裾などは　けずに、裁目をかゞるだけにしておくとか、または、不經濟のやうだか、余分の縫代をすつかり裁落してしまふといい、どうせ何度も縫ひ返さない、人絹の長襦袢などは思ひきつてかういふ仕立にしておくと、著た姿もすつきりするし、涼しくもある

▼…單衣ものも前身頃や、劍オクミの縫代を落して、衿もオクミの縫代で、ゴロゴロさせせるやうにすると、ずつとかたちがよくなるにちがひない、つまり縫代を洋服流に考へて上手に仕末することが、單衣物をかたちよく着る一つの秘訣といへよう

精神學上から見た 天才や偉人の型

醫學博士 辻山義光

最近の世相は民衆といふ言葉の代りに英雄が求められ天才が、偉人が要求されてゐるムツソリーニ、ヒトラー等々現代は英雄偉人を云々する譯が喧しい、そもそも英雄とは?天才とは?偉人とは?精神病學の權威者辻山博士にその人格分類について次のやうな興味ある話を伺ふ 世に尋常以上に秀れた人のことを、偉人といひ、英雄といひ、天才といふ、いづれも普通人とは比べものにならぬ程、ずば拔けたものを持つてゐるには違ひないが、さて、一體どういふ點にその區別がおかれるのであらうか、勿論その分類の仕方については、さまざまの方法や說かたてられてゐて簡單には定めがたい事實

×…偉人も天才…×

もやはり同じ人間であるにはちがひないのだし、オルレアンの少女ジヤンヌダークのやうに、一夜にして英雄的な行動をするやうになることもあるのだから、人間はこゝまでが普通人で、こゝまでが偉人だ天才だと言ひ切ることは出來ないが、こゝでは專ら精神病學的な見地から言ふ。

出來しばしば天才と狂人は紙一重、といふ言葉があるが天才のみに限らない、普通の人の中にいくらでも精神病的な要素を見出すことが出來る

つまり天才、秀才、凡人はすべて正三角形を形づくる正常人の範疇に屬する人々で、ただその發育の程度から大きかつたり小さかつたりするに過ぎない、神經質といふのはこの正常人の罹る病氣、といふよりも

×…人格發展上…×

の一段階とも考へらるべきもので、この過程を經た者だけが達人、偉人聖人の域に達するのである、神經質とはいひかへれば慢性神經衰弱ともいふべきもので自己の劣等感、完全を欲する心、心氣性念慮等、一般に內向的な傾向を著しく示して居り絕えず取越苦勞や煩悶をする、佛教の始祖釋迦は大變神經質だつたと云はれてゐる、

彼が神經質でなく、平凡なカピラバスト王國の太子であつたら何の煩悶も苦勞もなく、美しい妃と共に平穩な一生を終へることが出來たであらうが、彼の神經質は人間の有りのまゝの姿に安ずることが出來ず、老病死苦の謎を解くために慨々として樂しまず、遂に二十九才の時王宮を去つて修業の旅に上り、長い長い苦行の後にブッダガヤの樹蔭に靜坐して

×…漸く悟りの…×

道を開くことが出來たといふが、彼の苦行は實に自己の神經質の克服に外ならなかつたともいへるのである、しかも、現在神經質の心理學的治療がしばしば佛教思想を取り入れた方法で行はれるといふ事は甚だ面白いといはねばならない。

このやうに偉人、または聖人は正常人の神經質の基地に生れる人格であるが、英雄は違ふ、偉人、英雄といふ風に甚だ混同され易いけれども英雄といふものは決して神經質から發展するものではなく、凡そ神經質からは遠い存在である、英雄は强力な意志の持主ではあるが、大抵感情方面に缺けてゐるものがあり、神經質とは反對に素晴しい自尊心を持つてゐるのがつねである

×…英雄の典型…×

とされてゐるナポレオンを見ても彼は果敢で、强力な意志を備へてゐた「不可能といふ言葉は愚人の辭書にあるだけだ」と豪語した程の彼は智能にも卓絕してをり、砲學、兵學は勿論ナポレオン法典さへ殘してゐる、しかし感情的には實に冷酷で普通人の到底容認しがたいやうな事も平氣で行つた。

つまり英雄は聖人や偉人と異り、不等邊三角形の人格者であつて、どこから見ても神經質ではないので、何か親しみ難いものを平常人に感じさせる所以もさういふ點にあるのであらう、ひるがへつて日本の武人を考へてみると、上杉謙信、西鄕隆盛、乃木將軍等いづれも智謀秀で、感情豐かな偉人でこそあれ決して英雄ではなかつた、熊谷直實でも、源義經でも軍神廣瀨中佐にしても、實に立派な正三角形の人格者であつたのである

盆栽の手入れ 整枝と害虫驅除

盆栽の姿を整へる芽摘みの時期になつた、五月の末、芽が十分のびて、下の方が木質化したときに鋏で剪るのだが折角のびたのだからと惜んで長くのこして剪つたら盆栽はできない、芽を一つだけ殘して思ひきつて切り捨てることだ

(松)は新芽が三本だつたら眞中を手で折るのが普通で、新芽が一本の場合には、今のうちにうんと肥料をやつて力をつけ土用になつてから、なるべく短く折ると、內に貯へた力が幹吹きになつて吹きだして來る。

(虫)のつくのも今からで、驅除藥劑はいろいろあるが、實驗ではウエノトロンとデリス石鹼を混ぜたものがよい、ビール瓶一杯の水にウエノトロン一滴を落し茶匙一杯のデリス石鹼を加へよくふつて小さい噴霧器でかける、かけ方は夕方撒布し、翌朝葉水をやるとか土地と人によつて異るやうだが、日中に撒布し、後で洗ふやうなことはいけない、松や眞柏には赤虫がよくつく、葉が白ぼけて見えたら、下に掌を受けて葉を叩くと粉のやうなものが掌へ落ちて動くのがわかるそれが赤虫だ、最もひどくついたときには木を拔けぬやうに鉢にくゝりつけ、逆さにして一晩中水に漬けて驅除する人もあらうが噴霧器だけでよい

連載漫画 屋のやんちやん 西ひさし

ドロボウマテエ

アツプアツプ ハヤク タスケテエ

フランス風の 豌豆・柔か煮

◇材料 つぶゑんどう三合、パセリ一つかみ、小玉葱(直徑一寸位)十ケ、バタ大匙一杯、サラド菜一かぶ、角砂糖三ケ

◇調理 鍋に、むきたての柔かい青豌豆と、玉葱(直徑一寸位のもの)と、サラド菜とパセリ二枝と、バタ大匙一杯水をひたひたより少しひかへ目に入れ、暫く煮込んで後、砂糖と鹽胡椒を程よく加へ、煮汁が大匙一杯位になるまで弱火でとつぷり煮含めたらば野菜皿に盛り、刻みパセリを散らして、食卓に送ります。パセリは取出し除きますが、玉葱は一處に戴きます、兩方のうまみがうつり合つて、特別のおいしさです。

弱いお子様の(保健食)(獻立表)

▲▲ごじる▲▲ 大豆は洗つて一夜水にひたしておき、そのまゝすり鉢に入れてよくすつておきます、ジヤガイモ、青菜は適當の大きさに切つておきます、鍋に適量の水を入れて、ジヤガイモを入れやはらかくなつたところで大豆のすつたものを入れしばらく煮てから煮干粉を入れてざつと煮ます。

▲▲すいとん汁▲▲ 小麥粉と黃粉を適當の水を加へてといて置きます、竹輪を輪切りとしまた人參はうすく切り、ネギは五分切りとしておきます 鍋に適當の水を入れて煮立て竹輪とにんじんを入れしばらく煮てから、煮干粉とさきにといておいた小麥粉と黃粉を適當の大きさにつまんで入れさらにネギを入れ醬油で味をつけつまみ入れた小麥粉と黃粉のダンゴが浮き上つたのを程度として火からおろします

▲▲タラのでんぶ▲▲ 干鱈は洗つて一夜水にひたしておき小さく切つて十分にすつておきます、タマネギ、ニンジン、サヤは小さく切りすつた干鱈とともに油でいためて少量の水を入れて煮砂糖と醬油少量で味をつけ汁氣のなくなるまで煮ます。

▲▲つくだ煮▲▲ 身缺ニシンを一夜水にひたしておいて、一寸くらゐに切り、コンブと一緒の佃煮とします、ジヤガイモは亂切りとし、十分ふかし粉の吹く程度に煮えた時、醬油砂糖で味をとゝのへます。

なほ、以上の獻立は十歲から十四歲を標準とした關係上、蛋白質は一三、三グラム、カロリー一六〇內外となつてゐます、これに主食がつくわけです、またこれは晝食が標準ですが、夕食にする場合はこの倍の量が必要なので、二種類を組合せるか量を倍にすればよろしいわけです。

健康相談 食べ物により蕁痲疹が

(問) 生後七月の乳兒の母で御座いますが魚肉、獸肉其の他油物等、一寸でも變つた物を食べますと三十分も經たない內に足腹胸等に點々と蕁痲疹が出來とても痒くて弱ります、原因及び手當方を何卒御敎示下さいませ、尙便通は至極良好で御座いますが舌が甚しくあれて蕁麻疹の出來る時は痛い程ですもう二ケ月近く出來たりなほつたりの狀態なので御座いますが如何したら此の病から逃れることが出來ますでせうか (待子)

(答) 蕁痲疹の原因は單一ではありません大別して二に分ける事が出來ます 其の一は或る種の植物に觸れた場合、或は動物(蚊、蚤、虱、毛虫、南京虫等)に咬刺された場合、或は化學的藥品を塗布した場合、或は溫熱、冷寒の刺戟を受けた場合等局部に外部の刺戟によつて惹起される外因的蕁麻疹であります 今一つは或る種の食餌(蝦、蟹、鰹、鯖、貝類等)及び藥劑、攝取或は腸の寄生虫新陳代謝產物、肝腎の疾患神經衰弱消化器障碍便秘、婦人生殖器障碍等自己の體內の疾患により惹起される內因的蕁麻疹であります 然らば是の內因的乃至外因的の原因があれば萬人が總て蕁麻疹に罹るかと云ふと決してそうではありません、要は體質の特異質の人即現代醫學的流行語で云ひますと體質の過敏症の人が蕁麻疹に罹るものです 貴女の蕁麻疹は以上の說明で明かな樣に內因的蕁麻疹であります手當の方法としては內科若しくは皮膚科專門醫の徹底的治療を必要とします、素人治療としては蕁麻疹の原因となるべき食餌を攝取せざる事と便通を整調にする事です 尙、蕁麻疹の出來る時に舌が特に痛いのは恐らく蕁麻疹樣の發疹が舌に出來るためだろうと思はれます(回答者中央通保健所産婦人科部長醫學博士成松淸品)

食物中毒 應急手當法

腐敗毒素は煮ても燒いても無毒にならぬもので、また犬や猫が食べたからとて害のないものです、だから犬や猫が平氣かどうかで食物の安全度は計れません、食中毒は腐つてゐる場合だけにおこるのでなく、有毒な防腐劑が

▽…原因になる事もあります、安い醬油で黴の來ないものには往々ベタナフトールなどの毒物が入つて居り、酒の防腐に昇工水を使ふ奸商もありますから、飲食物は是非信用のある店で求められたいものです、なほ硼酸などは家庭常備藥ですが、これを蒲鉾などの防腐劑に使つてゐると永い間には健康を障害します、玩具や繪草紙の染料を子供がなめて中毒することもあります

▽…馬鈴薯の芽の出たのやセリとうからし、山葵とおにぜりの地下莖と間違へて中毒することも少くありませんしこれから先には青梅をたべて中毒することもあります、なほ芥子その他の香辛料は多量に攝ると身體を壞すからできるだけ少量に限つて下さい

▽…手當はほかの病氣とちがつて食品中毒は注意さへ行屆けば確實に豫防できるものですが、萬一中毒した時にはできるだけよく食べたものを吐き出す工夫、たとへば咽喉へ手を突つ込むとかするのは應急處置として極めて結構ですが、それ以上に姑息な療法をとらず何より醫師を迎へることですそして中毒した食物によつて手當の異ることもよくあるので、醫師には中毒したと思はれるものを十分說明することも大切です。

ラヂオ けふの番組

〔M・T・C・Y 新京放送局〕 廿八日 土曜日

朝

六、二五 ニユース(東京)
六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
六、五〇 中等滿洲語講座(大連)
七、一五 朝の音樂(大連)
八、二〇 氣象通報
八、二五 建國體操
九、〇五 經濟市況(東京)
九、三〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 家庭講座 子供の異常性格矯正 新京順天小學校長 佐藤鎮一
一〇、二五 料理獻立(大連)
一〇、三五 家庭メモ(大連)
一〇、四〇 經濟市況(大連・新京)
一一、三五 經濟市況(大連)
一一、四〇 經濟市況(東京)
一一、五九 時報(東京)

晝

〇、〇一 晝ハ演藝(哈爾濱) 土曜コンサート 獨唱 ソプラノ N・ズビアギンツエヴア バリトン S・ダレツキー ピアノ伴奏 B・スロボジン 一、つながれし鷲 二、鈴 三、月 四、母のことづて 五、さよなら 引續き(講談社提供キングレコード) 立體漫談 浪曲學校
〇、三〇 ニユース(東京・新京)
一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
一、一〇 東京大學野球聯盟リーグ戰實況(東京) ＝明治神宮外苑野球場より中繼＝ 明治＝法政 立敎＝帝大 (市況・ニユース・氣象通報の時間には中斷す)
三、〇〇 經濟市況
四、〇〇 ニユース(東京)
四、四〇 氣象通報・ニユース(新京)
四、四〇 經濟市況
五、二〇 ニユース(鮮語) 演藝(鮮語)＝野球なき場合放送＝

夜

六、〇〇 子供の時間 連續童話劇 ヘリウム小僧(大阪) 北村小松作 (第五回)
六、二〇 コドモの新聞 大連 BKコドモ會 大空のはなれわざ
六、二五 趣味講演 ナチス獨逸のラヂオの話 金澤覺太郎
七、〇〇 ニユース(東京) ニユース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇 國民歌謠(東京) 伴奏 東京放送管絃樂團 獨唱 谷口露子 合唱 ホワイト合唱團 一、子守唄 二、若葉の歌
七、四〇 講演(東京)＝未定＝
八、〇〇 室內樂(東京) ピアノ 藤田喜代子 オーボエ 阿部萬次郎 ヴイオラ 藤田經秋 二つの狂詩曲 レツフラー作曲 一、沼 二、バツグパイプ
八、三〇 長唄(東京) 月別名曲選(第二回)＝五月の巻＝ 岸の柳 唄 杵屋勝五郎 同 坂田仙三郎 三味線 杵屋佐吉 同 杵屋三四郎
八、四七 連續ラヂオドラマ(東京) 東鄕元帥(下) 關口次郎作 天城山上の二將軍 出演 新國劇 演出 AK文藝部演出班
九、一九 時報・ニユース(東京) 氣象通報・ニユース・告知事項・番組豫告(新京)
一〇、〇〇 (北支前線より)(新京)
一〇、一〇 ニユース解說(東京) 引續きニユース再放送
一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)

學藝

……小説……

季節の風（五）

伏水清貞

「で、今、君の言つたのを聞いてゐると、どうやら、君の滿洲文學論も郷愁文學論に變つて來たやうだな」

松木はにやと笑ひながら、中原を刺戟しない調子で、話を前に戻した。

そこで赤高宮が

「そう〱、佐山が今日の滿蒙新報に滿洲文學論〻例の調子で書いてゐるぜ」

「そうか」と、中原は嬉しそうな顔で笑ひたがら

「そう―郷愁文學とでも名付けてかまわない。とにかく僕達には滿洲文學などと、仰山になにか新しい文學がこの土地に横たはつてゐるかのやうに考へたり、言つたりする事は出來ないやうな氣がしてならない。」

「一つ、佐山の後をうけて、中原それを書けよ」

高宮は、中原の病氣など、氣にならない風に話しだした

「だがね、松木、さつき僕は僕達々々と言つたけれど、それは佐山のやうにこの滿洲の地に、生れこゝに育つた日本人、即ち滿洲二世だね、これ等以外の我々のことなんだ。郷愁といつたものから今滿洲文學を僕は考へてゐるんだけれど、それだけ、この事は僕達にのみ考へられ、正しいものかも知れないが、佐山は、あゝした滿洲文學論を持つてゐるけれど、彼等にとつてみると、僕達が考へてゐる程、そんなに僞りのものだとも思つてゐないのかも知れないね つまり佐山の故郷は、この土地だといふ事、この間に、僕達の考へ方と、どの位、ひらきがあるものか、これから氣をつけて、佐山の書いた作品を讀んでみやうと思ふ」

前の中原の話を聞いてゐない高宮は、こゝで漸く、大方の二人の話が見當づいて來たのだらう。

「そうか。郷愁といふものから、にじみ出た作品が、この地の作品らしいものとなる、といふんだね」

「うん、單にそれだけ、といふのではないがね」

「しかし、それじや、實に弱い文學じやないか、とにかく弱いよ、」

高宮は、大きな聲で、後の言葉を言つた。

「弱い、たしかに弱い、その事については、君がやつて來る前、松木に話したので、もう何も說明しないが、しかし郷愁といつたものがなにも感傷だと考へてくれては困るよ郷愁から、生ずる、生活感情態度。土地觀。そういつたものを、もつと〱掘り下げて考へて行かなくては、うそなんだが、だから僕は別に松木が名づけてくれた郷愁文學だつて、口先で強いことをいひたいのだつたら、植民地強化の指導の文學といふ事とは一つも反してゐない事だと思ふがね」

長く話したので、やはり疲れが出たのだらう、中原は、そこまで話すと、再び窓の外に目を向けて、默つてしまつた。

いゝ氣になつて話してゐた松木と高宮は、今にして氣づいたらしく、體にさわらねばと思ふと、氣がひけてきて、それまで默つて聞いてゐた、彼の姉に、お詫びしたい氣持もあつて、

「どうも、つい熱が出てしまつて」

といふと、彼女は

「あなた達、熱を出せば出す程いゝのよ」

別に、そんな事は心配いらないから、もつと話しなさい、といはんばかりの顔を輝かせて、明るく笑つた。

松木も、もうそろ〱歸らうと思つてゐる時、高宮が先きに、これから、未だ用事が殘つてゐるので、これで失禮すると立ち上つたので、松木も「それでは亦明日にでも…」と一緒に立つた。

中原は　びつくりした樣に起き上りながら

「まア〱もう少し話して行けよ」

と、もつとゐてもらひたいらしかつたが、二人は明日を約束して、別れて來た。

外に出てみると、短い秋の陽に、あたりは漸く暮色を帶びてゐた、松木さへ、なんだか疲れをおぼえて、中原の疲れが想ひやられた、なにかぼんやりした氣持で、このまゝ下宿に歸る氣にもならず、高宮の歩いて行く方について行つた。

突然高宮が、ふりかへつて

「中原の滿洲文學論も遂に郷愁にまで墮ちたなあ」

は、は、と元氣に、しかもなんの感興もなささうに笑ふと、松木は相かはらず、うつむき氣味に

「病中文學論なんだから、な」と、つぶやいたが心の中では今話した中原の話を、くりかへし〱考へてゐるのだつたたとへあの中に病中の氣弱さから、間違つた考へ方があるにしても、中原の以前からの正直な、眞直な、考へ方が今日の話で一層、心をうつてくる氣がして、深く中原の純正な熱情をも感じられて、何か深く心に期する處も出來たらしく、ふと、顔を起すと元氣のいゝ高宮の歩調に合はせながら、どん〱と歩いて行つた。（終り）

娘々祭を中心として（上）

外山卯三郎

昨年私が滿洲の各地を歩いた時、折よくもこの大地の春を彩る美しい娘々祭の盛大さに打たれたものである。この驚くべき民衆の群る姿ほど私を驚かせ、また喜ばせたものはない、それは他でもない、かうした夥しい人間の姿が一望視野に入る形で現はれることはかつて日本において經驗したことがなかつたからである。

言ふまでもなく日本にも物凄い雜沓は見られるだらう。例へば銀座の街頭にあふれるあの歳末の光景も知つてゐるし、花見時の新宿驛の人波、或は大阪で見受けられる惠びす祭の人出、博多の精靈流しの夜祭、これらもまた盛大な人間の群る姿であるに違ひない、しかしそれらは決して一望に見はらすことも出來なければ、また娘々祭ほどの數にも上らないだらう。

それよりももつと面白く感じられることはこの群衆の持つてゐる性格ともいはれるべきものである。これがたゞ單純な宗教的な集りといふだけでなく、一つの原始的な貿易機關であり、歡樂機關であるといふことである。娘々廟の本尊といはれるものは人民に幸福を齎らす神である點で、日本の惠びす神に近似してゐるが、娘々様はもつと大きい力を持つてゐる、何故といふならば娘々様にはその本尊とともに送子娘々といふ叢が結ばれ子供が生れる出產の大神の役割もあれば、惡病の癒る厄拂ひの神業の力をさへ持つてゐるからである。これだけの強大な力を持つ神樣であればこそ望蜀の志を抱いてゐる人間にしてこの廟會に參詣しないものはない筈である。老人も若人も子供も、男も女も妻娘もそれぞれの望を祈るべく、千里を遠しとせずに集つて來るわけである。

さうしてこの娘々の廟に雲集した人たちは祝福すべきその將來への希望に燃えて祈願を濟ませたあとでお土產を買ひ、見世物を見物し、胃袋を充たし、官能を滿足させるといふ歡樂機關を要求するものである。さうした要求を充たしてくれる設備が行はれ來るべき一年間に必要な家財や道具を買ひ集めて、希望を抱いて歸途につくのが習慣になつてゐるこれがこの娘々祭の持つ珍らしい性格だと思はれる。

三日或は五日といふ長い間をこの娘々廟のある丘に集つた群衆は、あるひは馬車をホテルにし、廟を宿として幸福を祈願するといふ姿こそよそ眼に見ても樂しい祭りといふことが出來るだらう。これほど人間が原始の姿にもどつて、春の光をあびて大自然の中で喜び樂んでゐる姿は、日本のどこでも見出せない。こゝに娘々祭といふものの大陸的な性格があり、また滿洲人や支那人の性格があるやうに思はれる。私はこの大衆の喜びを呼吸するお祭に強く打たれるものである。

【寫眞は娘々祭風景】

バクダ手帳

畸型的な一作
―牛島春子『手記』を讀む―

これはいはゆる「私家版」とも言ふべきものであらう普通のやうに公刊されたものではないのだが、しかし作者が一冊のプリント刷にしたものである以上、此處に取り上げてもいいであらう。

十五歳から十八歳までの間の一少女の手記といふ體裁である。著者の序文を見ると、その頃北九州の一都市にはマルクス主義が浸潤してゐた。若い少女はそのために大きな影響を受けたといふやうな事がことさらに書いてあるのだが、本文ではそのマルクス主義運動は何處に行つたのか行方不明で、たゞ早熟な一少女の空想的な色んな想念の斷片が書きつらねてあるだけである。

若い日の一少女の肖像、先づそれだけはおぼろ氣に描き出されてゐるとはいへやう。だが最後の、少女の過失死を裝つた自殺、到達する必然性は首肯されず、とつてつけたみたいでをかしい。むしろ平々凡々たる人妻にでも脫さした方が「文學的」ではなかつたか。何とも苦い讀後感を持たされた畸型文學の一標本であつた。（御垣衛士）

夜の話

池邊靑李君或る宴會に來て「今夜は一寸行く所があるんで」と尻をモヂモヂさせてゐたが、傍らに某百貨店の會計孃あり、結局最後までその席に頑張つた▼一同外に出ると、ソコ〱に馬車を呼んで北の方に走り去る、自宅とは反對の方角である「オイ、オイ、何處に行くんだ？」「これから奥さん所へ行つて言ひ付けるぞ…」友達連中盛んに叫べども不關焉、よつぽどいゝ行先があつたらしい初夏夜話の一齣

……飜譯……

夜の雨（四）

張雅廬作　大内隆雄譯

恰かも一瞬事の如くにしてこのひつそりした一角に來てゐた。雨は依然として蕭々と落ちてゐた。

「もう明けて來るだらう」さう考へ、彼は急いでその濡れた服をたゝみ、木の箱に入れ、寢床に横になつた。

柔枝はあれ程に大膽でしかもおとなしい、聰明であでやかだ、彼は妙にそのことを思ひ出した。肉體にぴつたり合ふ肌衣を着、胸許をひらいて客に接する、それは思ひもかけぬことだ。

「小母さんは家にゐないのかね？」

「あの人は今日お嫁の附添ひで出掛けて行つたんですよ！」

「此處を一人で番してゐるのかね？」

「一人ですよ！」

「ぢや、お前も引越す積りかね、明日かね、明後日かね？――明後日はいけないぜ！」

「私はさう思つてゐたんですがね」

それからまだ一言言つた、それは柔枝の口から彼の耳許に傳はり、恰かもぴつたりと彼の身體にまつはり着くかのやうであつた。――

「前にはお前もわしを好きだつたんだらう？」

最初彼はこの娘に對して、どうにもならない力のために斯う言ひ出した、それから困つた氣持になつたが、その後ではどんな事でも自然に言へるやうになつた。

彼女は彼に感謝しやうとした、衷心から感謝しやうとした。彼女は言つた、若し自分が行つてしまつて彼の身の上に災ひを來してはいけない、これは一つの秘密なのだ、それに彼は彼女の以前の先生なのだ。どんなつまらぬ事でもみんなから探し出されるかも知れない、これは心配だ。彼女は言つた、彼女は長いこと都會に出やうと思つてゐた何なりとして金儲けをしやうと思つた、と。彼女はまた丁寧に彼に言つた、何でも話してほしい、何とか考へると。

恰かも長いこと交つてゐる友達のやうであつた、一切の事を彼女はたださらかに話した。

寢床に横はると、疲れをも厭はず彼は考へ續けた。これはまさに彼女が言つたやうに心配だ。若し自分が言つたら「自分の仕事、自分が疑はれた、自分の名譽は駄目になつてしまふだらう」だが又彼は深く考へた、もはや都會に出やうとしてゐるこの娘、この娘に何をするのか知らずにゐる、賣淫か？それを知る者はゐない――一人の男としては何とかして生活費を得ることが出來やう、だが女は賣淫によつて生きる外はないではないか？これはどうしたらいゝのか？

雨はなほ絶えず降り續け、天井から枕許に落ちて來る、彼は身體を寢床の中に縮め、不可抗的な疲れのためにその氣持もたんだんと眠りに落ちて行つてしまつた。（完）

學藝消息

▲東京での日米學生會議に多過ぎる米國の參加希望　今夏東京で開かれる第五回日米學生會議に米國からの參加希望者が多過ぎるといふ快いニュースがこの程日本米學生協會に齎され同會では歡迎準備に大童であるこれは時局の進展に從つて日本の眞意が理解されるとゝもに戰時下における日本の眞の姿を認識せんとするためで、太平洋沿岸はもとより中部東部のシカゴ、エール、ハーバート、コロンビア等各大學からも希望者が多く、五十名の定員では到底希望を滿しきれないでオヴザーヴアとしてでも認めて貰ひ度いと米國側では望んでゐる　この學生團は十八日プレシデント、ウイルソン號で來朝、日本の政治、經濟を六日間研究更らに日本內地及び新京、奉天、大連等を見學して八月十九日出帆の平安丸で歸米する筈である（東京國通）

▲國際文化振興會が紐育に日本文化圖書館設立　國際文化振興會では對米文化工作を一層強化し日本文化の宣揚を圖ることゝなり、さきに外務省でニユーヨークに新設計畫を發表した情報圖書館とは別にロツクフエラー・センターに日本文化圖書館（假稱）を新設することに決定、その準備及び各方面との連絡を兼ねて同會理事長樺山愛輔伯が七十四才の老軀をひつさげて來る廿六日横濱出帆の郵船氷川丸で渡米、一船遲れて來月十日横濱出帆ノ郵船日枝丸で同會常務理事黑田清伯も渡米して建設を急ぐ筈である、この圖書館には日本文化紹介に關する各種の圖書出版物を備へ一般研究者に自由に閲覧させる他研究費の補助、調査依賴、外務省及び同會製作の映畫、寫眞幻燈版、レコード等の配布を行ふ筈で樺山伯を初代館長に大體十月初旬までには開館する運びであるなほ右の日本文化圖書館は將來ドイツ、フランス、イタリー、トルコ、シャム、南米等の各國にも同樣開設して日本文化の本格的紹介に乘出す筈である（東京國通）

現代諸威の小説　・本日休載します・

藥効第一の眼科藥
スマイル
〔醫學博士 中村 榮先生 醫學博士 仁藤隆作先生 推奬〕
スマイルは科學日本が誇る最新の眼科治療劑にして、その快速なる殺菌消炎作用は諸種の眼病に用ひて、迅速適正なる治療作用を發揮すると共に、眼の疲勞充血、溷濁を去り、視力を明快にし、眼の健康的印象美を增進する作用を有します。
失明の慘苦を想へ！眼疾こそは貴下の生活を暗澹たらしめる怖るべき兇敵だ！即時本劑を活用して治療の萬全を期せられよ！
眼病は主として眼の不潔、不衛生から起ります。從つて眼病の豫防には、不潔な指で眼をこすらぬこと、強い光線を避けること、照明の足りない暗い部屋で、細かい仕事をせぬこと、患者に近寄らぬこと等が肝要であります。
罹病した場合はスマイルのやうな正しい眼科藥を一日數回點眼すると、眼脂や充血がとれ、腫れが引き、痛みが和いで、日一日と氣持よくなります。
こんな場合に
結膜炎（眼ヤニがひどく、白眼が眞赤に充血して、光線が眩しく、涙がしきりに出る）
角膜炎（黑眼に星が出來て、次第に視力が霞み、時として眼底が激しく痛む）
トラホーム（瞼の裏にブツ〳〵が出來て、光線が眩しく充血して遂には失明する事あり）
眼精疲勞（眼が疲れ易く、ボンヤリして仕事に倦怠し、頭痛がして、神經が焦立つ）
眼瞼炎（瞼がたゞれて、チク〳〵痛み、甚しく眼が醜くなつて、視力にも差支へる）
（藥價）二十五錢・四十五錢・有名藥店にあり
この容器！
スマイルの容器は藥液の變化せぬ硬質ガラスとグッタペルカロ栓を用ひ、一滴づゝ快よく點眼出來る自動式點眼装置です
總代理店 ㊞ 株式會社 玉置商店 東京・大阪

忠靈塔春季大祭に畏し皇帝陛下臨幸

來る卅日には新京忠靈塔の春季大祭が盛大に執行されるが、皇帝陛下におかせられては式場に親しく御親臨遊ばされることゝなり宮内府より左の如く發表された
皇帝陛下におかせられては五月卅日新京忠靈塔に臨幸あらせらるべき旨仰出されたり

こゝにも日滿一體の成果
講演、映畫會を終曲として
海軍記念日行事終る

勇壯なるバンドの市中行進、嚴粛盛大な忠魂碑前の記念式典、更に西公園池の模型軍艦爆破はさながら往時の日本海大海戰當時を彷彿せしめ池畔を埋めつくした數萬の觀衆を熱狂せしめ午前の行事は終了午後一時よりは西廣場小學校に於けるオール新京柔劍道戰が展開され海軍記念日の意義も深く非常時海國男の子の意氣を遺憾なく發揮、夜は午後八時より滿鐵西廣場倶樂部と

大經路小學校で記念講演と映畫會を開催

押寄せた市民で一杯に埋めつくされた、西廣場會場に横山官房庶務科長先づ開會を宣し當時の日本海大海戰を偲ぶ海友會諸氏の講演あり、海軍省作成作戰記錄映畫數巻に觀衆皆今次事變の生々しい記憶を呼び戻し音樂協會の奏樂の後娛樂映畫「栗山大膳」を上映、最後に大日本帝國海軍萬歳を三唱して十時過ぎ幕を閉ぢ第二會場である大經路小學校に於ても多數の滿人が押しかけ定刻八時陳行政科長開會の辭の後映畫「赤道を越えて」を上映商業バンドの奏樂、作戰記錄映畫を上映の後萬歳を三唱して終了兩會場とも非常な盛況裡に閉幕

かくて二十七日は早朝より深更に至る迄文字通り國都全市を海軍一色に塗りつぶし無事終了したが治外法權撤廢後最初の海軍記念日は滿洲國側の主催に依り日滿兩國民あげて擧行されたところに一段と意義深いものがあつた

劍道は滿炭B組
柔道は電業A組勝つ
記念武道大會戰跡

第三十三回海軍記念日記念武道大會は新京特別市公署の主催で都下各團體の代表選手三百五十名を動員して二十七日午後一時より西廣場小學校に於て駐滿海軍部始め多數の來賓を迎へ盛大に擧行された、定刻選手一同入場整列國旗に敬禮をなし大日本帝國國歌奉唱ののち昨年の優勝團體滿鐵より優勝旗を返還し關屋新京特別市副市長兼滿洲帝國武道會新京支部長の式辭駐滿海軍部參謀長の挨拶あり滿鐵伊藤選手一同を代表して力強き宣誓をなし審判長の注意あつて柔劍道共三組宛に分れ「興廢此の一戰にあり」の勢ものすごき大接戰が展開された、勝拔試合のこととて番狂せも多々あり滿堂の觀衆を息づまらせつゝ試合は進み結局劍道滿炭B組柔道電業A組が優勝の榮冠を獲得し關屋會長より賞狀優勝旗、駐滿海軍部司令官盃、賞品、記念品が授與され六時終了し〃戰蹟左の通り

【寫眞は優勝盃授與式】

▽劍道第一回戰（勝　負）
大同學院―滿拓A
滿鐵B―滿炭A
電々A―中銀
總務廳―需品局
經濟部―京商
產業部―室町小學校
滿鐵A―水力電氣
滿炭B―櫻木小學校
滿拓B―青年學校
市公署―關東軍
滿鐵C―治安部
日滿商事―電々B

▽同第二回戰
大同學院―滿鐵B
電々A―林野局
首都警察―總務廳
經濟部―產業部
滿炭B―滿鐵A
興銀―滿拓B
市公署―中央訓練所
日滿商事―滿鐵C

▽同第三回戰
電々A―大同學院
首都警察―經濟部
滿炭B―興銀
日滿商事―市公署

▽同準決勝戰
電々A（大將勝）首都警察
滿炭B（大將勝）日滿商事

▽決勝戰
○滿炭B―電々A
山口―ド倉田○
永島―コ同○
○星子メ―同
○同メ―渡邊
同―ド遠藤○
○藤井メ―同
同―メ井坂○
○寺井メ―同
○同メ―榊

▽柔道第一回戰
經濟部―青年學校
電業B―林野局
首都警察―大同學院
產業部―中央訓練所
產業部―滿炭B
司法部―國際運輸
滿炭A―日滿商事
電業A―興銀
滿拓―電々

▽第二回戰
經濟部―電業B
產業部―首都警察
滿炭A―司法部
電業A―滿拓

▽同準決勝
經濟部（不戰二人）產業部
電業A（不戰二人）滿炭A

▽決勝戰
○電業A―經濟部
○中川（拂腰）岡本
同（背負）木村○
莊山（引分）同
竹内（引分）北山
田邊（引分）橋田
小林（小内刈）小澤

傷病兵の競馬見物　新京陸軍病院で加療中の傷病兵百二十五名は戸外運動と競馬見物のため廿七日午後一時藤森曹長に引率されて新京競馬場に赴いたが競馬場側から茶菓の接待を受け午後四時病院に引揚げた

"競爭貯金"積つて海の佳日に獻金
片山喬子さん姉弟から寄託

特別市惠民路五〇一番地電々主計課勤務片山完二氏のお子さん達が二十七日の佳き日本社を訪問、小國民の意氣を示す健氣な獻金を申し出た姉さんは錦丘高女二年の喬子さん(一五)二人の弟さん達は順天小學校五年の俊輔君(十二)に未だ小さい宏二君(五)である、三人は事變が始ると直ぐ我が忠勇な兵隊さんを何とかして慰めたいと思ひ平素兩親のお手傳ひをするたびに一錢づゝ御褒美を頂くことになつてゐたので早速それを貯金することを約束し合つた、そこで喬子さんは時計型、俊輔君は達磨型、宏二君は林檎型の土製貯金玉をもとめ、今日迄せつせと競爭して積み上げたものである、漸く最近三人とも容器に一杯にたつたので喜び勇んで獻金となつたわけである、金額は兎に角容器を割らなければわからないので、本社ではそつくりそのまゝ軍に持參するが、大體一個二圓見當であらう、その外片山氏の家庭で購讀しゐるアサヒグラフ約百冊、煙草、チョコレートの銀紙菓子箱に一箱分が添へられてあつた【寫眞は向つて右より宏二君、喬子さん、俊輔君】

朝鮮物產座談會

開催中の半島產業文化紹介朝鮮物產展見本市並びに展覽會主催者側では二十七日午後六時から同所に在京各關係機關代表約三百名を招待、座談會を開催したが、主客各々忌憚なき意見感想の開陳あり同九時盛會裡に終了した

目下寶山百貨店を會場にして

興安忠靈塔の春季大祭

五月廿八、廿九、三十の三日間にわたつて大興線通遼において興安忠魂塔の春季大祭が擧行されるが、當日は同地方最大の行事のことゝて多數の人出が豫想され、滿洲芝居の外露天市場、映畫大會、喇嘛舞樂、蒙古相撲、柔劍道大會など盛澤山の催物がある

電々總務課長會議

滿洲電々會社では機構改革に伴ひ先般全滿管理局長會議を開催

して其の趣旨の徹底を圖り社業の隆進に資する處あつたが更に之が細部に亘る質疑應答を行ひ國策會社としての社業達成を一層圓滑ならしむる爲全滿管理局總務部長會議を二十七、二十八の兩日新京本社に開催、第一日は午前九時より廣瀨總裁の訓示についで瀨田總務部長の指示あり引續いて文書、人事、考査各關係の協議を行ひ、各主管課よりの説明あり午後四時散會した、

第二日は引續き廿八日午前九時から開催の豫定である、管理局側出席者左の如くである

大連管理局奈良定メ、奉天辻茂彦、新京須田德市、哈爾濱韓樂春、城座良宗、牡丹江森耕平、齊々哈爾細川新三、承德赤木修一

自轉車檢査不成績
二日迄に受けよ

中央通署に於ける管内の自轉車々體檢査は去る二十四日より實施中であるが、現在までの受檢者は少數で甚だ不成績であるに鑑み同署ではさらに徹底を期するため受檢者の便宜を圖つて區域日割によらず六月七日まで檢査することゝなつた、自轉車所持者は期日までに漏れなく受檢されたいと同期日經過後無檢査車體を發見の場合は嚴重處罰の方針である

滿伊交驩放送
六月九日夜十時半から

新京中央放送局では去る二十五日よりローマとの間に放送テストを行つてゐたが調子も頗る上々なのでいよ〳〵來る六月九日午後十時卅分から十一時まで新京とローマとの間に滿伊交驩放送を行ふことになつた、滿伊交驩放送のプログラムは左の如くである

△滿洲國側（十分間）【1】イタリー國歌【2】ファシスト黨歌（新京音樂協會ブラスバンド演奏）【3】イタリー經濟使節團團長エツトレ・コンテイ氏挨拶

△イタリー側（廿分間）【1】滿語アナウンス（駐伊滿洲國公使館員）【2】滿洲國國歌（イタリー放送會社專屬管絃樂團演奏）【3】徐駐伊滿洲國公使挨拶【4】オペラ・ミユジック（曲目未定）

足球戰三日目

新京足球戰第三日目は午後四時三十分より中銀グランドで續開され、先づ市公署對第二國民學校は前半0對0後半0對0で市公署對0で延長戰に入り結局1對0で市公署勝つ、交通部對產業部は前半0對1後半1對0でこれも延長戰に入り結局4對0で交通部勝つ

貴族院慰問團近く來滿

【東京國通】貴族院では今回皇軍慰問團五名を滿洲に派遣することになつたが六月六日午後十一時東京驛出發、在滿皇軍各部隊を慰問して卅日歸京する豫定である、一行の氏名左の如し

團長　伯爵　川村鐵太郎（研究）男爵　前田勇（公正）男爵　有地藤三郎（公正）男爵　園田武彦（公正）河井彌八（同志）

總務廳防空演習

國務院總務廳では二十八日午前九時より同十時四十分まで防空演習を實施し、終つて小松原防衞司令官の査閲講評を受けることゝなつた

國旗は平本

國士館柔劍道部選手四十餘名を迎へた新京では二十七日午後六時より西廣場小學校に於て關屋滿洲帝國武道會新京支部長の歡迎の辭あり引續き新京代表柔道選手との間に肉彈相搏つ白熱試合を行ひ潑剌たる新進國士館日頃鍛錬の腕を發揮し九對二で大勝した、閉戰七時二十分、なほ劍道部では同六時より一時間餘新京商業に於て市中の教師、選手總出で猛烈な練習を行つた、柔道試合戰績左の如し

國士館―新京

先三段　朝日（引分）二段廣田（產）
同高木○（締め）同中川（電）
同秋山○（大内刈）佐藤（電）
同本多○（返し）同田邊（電）
同渡邊（大外刈）○同小林（電）
同大川○（内股）三段福島（海）
福永○（内股業二）同酒井（交）
四段田原（引分）同朴（中）
同鹽見○（小内刈）同小林（滿）
同三浦（片手背負）○原田（電）
同市川（引分）同山本（電）
同上野（引分）四段宮川（電）
同福本○（小外掛）同古賀（大）
同市原（引分）同廣津（中）
同野村（引分）同原（中）
同中村○（拂腰）五段久山（治）
同田淵○（内股）同占部（協）
大將石川（引分）同岩科（鐵）

お手本先づ元締めて商賣樂でない
專賣總局の阿片斷禁

滿洲國政府では國民保健向上の見地から曩に阿片斷禁十ヶ年計畫を樹立し阿片零賣の公營、イン者の登錄制度の實施など着々と具體策を講じてゐるが全滿阿片賣買の總元締專賣總局ではこの政府の阿片政策に順應して五月より三ヶ月の猶豫期間を以て專賣總局員のイン者絶滅を期することに決定し總局長姜恩元氏は職員に範を垂れて二ヶ月の治療を以て阿片吸飲を矯正した、同局滿系職員中阿片イン者と目されるものは約百五十名で總局の方針としては阿片收買及び販賣に從事する職員の吸飲は衞生上は勿論各方面より疑惑の眼を以てみられること尠からず本年八月までに他の官吏イン者に率先して矯正せんとするもので此の急速なる阿片斷禁は全滿イン者に多大な好影響を齎らし一般の矯正に拍車をかけるものと期待されてゐる

薄ものゝ季節は泥棒を誘惑する
御注意！空巣被害頻々

初夏から眞夏へと水銀の上昇につれて各家庭に於ける外出は一層頻繁となり隨つてこの時期は泥棒にとつては絶好の活躍期であり盗難被害は依然として各署の机上を賑はし係官を惱ましてゐるが、外出に當つては嚴重な戸締りと同時に不在の家は近所の者に言つておかひが警戒するやう希望されてゐる、廿七日も中央通署に屆出られた盗難被害三件

▲梅ヶ枝町一ノ四齋藤旅館二號止宿孫翻麟氏は午前七時卅分洗面中に自宅の洋服ポケットの中においた現金二十三圓を竊取された、檢證の結果犯人は去る廿五日同室に投宿その日姿を晦した朝鮮平安南道生れ金乃鉉（二四）の仕業と見られ目下搜査中

▲入舟町四丁目一ノ一三井勝夫氏は午後一時頃不在中紙施錠を奇貨に侵入した何者かに新品洋服時價六十六圓を竊取された

▲羽衣町二丁目二林朝一氏は午前九時頃から午後七時頃の間不在中に塀を乘り越え裏庭に面した窓硝子を破壞侵入した賊にラクダ毛布及オーバー等時價百圓餘をまんまと竊取された

國士館選手歡迎武道戰

滿鮮武術行脚の壯途にある國

閑話

專賣總局の山梨副局長、過般人事の大異動を斷行して永い間澁滯してゐた人事を刷新し、綱紀肅正を實行に移すなど世人から何か臭い樣な氣がすると謂はれてゐた專賣總局の面目を一新したが▲更に「阿片斷禁三ヶ月政策」を以て職員の吸飲を矯正せんと努めてゐる▲既に姜總局長自ら範を垂れた位だからその成果は疑ふ余地も無い▲だが職員中にイン者がゐないと專賣署の商賣が成立たないには一寸頭をヒネつてゐる▲それは滿洲國の阿片の品質檢査が科學的檢査でなく吸飲によつて等級をつけイン者でないと阿片の良悪が判らないのでどうしてもイン者職員を必要とするわけ▲「滿洲國の十ヶ年計畫が完成する以前に阿片の科學的檢査を發明研究する」と相變らずの張氣をみせてゐるのは頼もしい

けふの天氣　西寄の風晴時々曇
きのふの氣溫　最高二八度三　最低一六度五

若殿膝栗毛

(上演上映)　中川雨之助　竹岐一郎畫

八五　早立客

呼んだ女中に訪ねる長七郎。
「今朝早立ちの客といふのは、どのやうな客であつた」
「アラお客さま、あたしたちの立噺しをお聞きでしたか。オヽ氣まり惡る。ほヽヽヽヽ」
「女連のやうな噺であつたが……」
「はい、裏座敷の若いお武家さまとお孃さまで」
「女は幾歳くらゐで、顔容………?」
「おほヽヽヽお客さまも、女には、ほヽヽヽヽ」
美くしい長七郎の顔に見惚れながら、饒舌を剥き出して女中は笑つた。
「女は、病氣ででもあつたのか」
「江戸からの途中、惡くなつたとかいって、家には、五六日もお逗留でございました」
「女の年頃は?」
「十九か廿歳、それは〳〵よい御容色でございました」
「名は何といつた」
強ひて平氣を裝ひながら、長七郎の胸は、次第に蹴動するのを禁じ得なかつた。
「さあ……」
女中は考へてゐる。
「もしや、香鳥とはいはなかつたか」
「さあ……?」
「連れの男といふのは?」
「廿六七の、若い御浪人で……」
「なに? 若い浪人…?」
「二人は兄妹でなかつたか。それなれば兄は、英之助といふ名であるはずだが……」
「さあ……」
何を訊いても女中では要領を得なかつた、しかし長七郎は、ヂッとして居られなくなつた。
「さあ、勘定だ。早く〳〵」
女中は、面喰らつて[illegible]して行つた。

それから間もなく桔梗屋を立つた長七郎。
疑問の二人連れを追つて、一里あまりを一と飛びに急いで、神奈川から程ケ谷へ來た。
「相手は病人連れだ、そんなに急ぎもすまい、あんまり周章てゝ先へ行き越しても困る」
駕籠といふ駕籠、女といふ女は見脱さないやうにして、ドンドン道を急いだが何處まで行つてもそれらしい者に出逢はなかつた。
「やつぱり人違ひかなあ……」
長七郎立ち留つて溜息をついた。神奈川から三里、戸塚まで來てしまつて、路ばたの茶店で、一ト息みやつてゐる長七郎。
相手は病人づれの道中。どんなに急いだとて、滅多にさう早くは行けないだらう……と思ふと、無暗に先へ進みもならず。
といつて、途中でヂット待つてゐるうちに、若し先へドシ〳〵行つてしまはれてはそれこそ取返しが付かなくなる。」
長七郎は、途方に暮れた。
宿の女中の話によると、女は確に香鳥のやうでもあり、また、さうでないやうでもある。半信半疑で追ひかけるなんて、少々頼りない話だが、しかし、追ひついて實否を糺すまでは、どうも安心が出來ない。從つて、このまゝ追跡を斷念する氣にはなれなかつた。
「えゝホイ、下に居れ〳〵」
「片寄れエ〳〵」
下座觸れ制止の聲が、街道の上手の方から遙かに響いて來た。
ぽつ〳〵旅人の往來の始まつてゐた朝の街道筋が、俄にざわついた。
歩いてゐた人間は、みんな道端へ、平たくなつてシャがんでしまつた。駕籠や馬は、みんな目障りにならぬ蔭へ退いてしまつた。